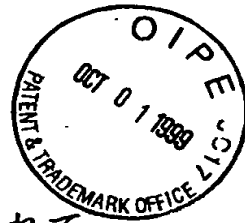


091362053
CFO 13703 US/k

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

1999年 7月 5日

出 願 番 号
Application Number:

平成11年特許願第190411号

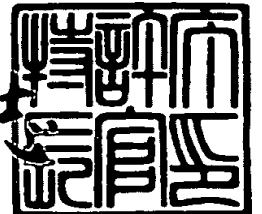
出 願 人
Applicant (s):

キヤノン株式会社

1999年 8月 2日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

伴佐山 建志



出証番号 出証特平11-3054214

【書類名】 特許願

【整理番号】 4025075

【提出日】 平成11年 7月 5日

【あて先】 特許庁長官 伊佐山 建志 殿

【国際特許分類】 G06F 3/12

【発明の名称】 情報処理装置及び情報処理方法及びコンピュータ読み取り可能なプログラムが格納された記憶媒体

【請求項の数】 28

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キャノン株式会社
 内

 【氏名】 松山 洋一

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キャノン株式会社
 内

 【氏名】 三谷 滋之

【特許出願人】

 【識別番号】 000001007

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

 【氏名又は名称】 キャノン株式会社

 【代表者】 御手洗 富士夫

 【電話番号】 03-3758-2111

【代理人】

 【識別番号】 100069877

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キャノン株式会社
 内

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 丸島 儀一

 【電話番号】 03-3758-2111

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 平成10年特許願第217423号

【出願日】 平成10年 7月31日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011224

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9703271

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報処理装置及び情報処理方法及びコンピュータ読み取り可能なプログラムが格納された記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 インターネットを介して外部装置と通信可能な情報処理装置であって、

インターネットを介して前記外部装置から印刷設定情報を取得する取得手段と

前記取得手段で取得した印刷設定情報に基づいて、印刷依頼情報を生成する生成手段と、

インターネットを介して前記外部装置と通信しつつ前記印刷依頼情報を送信する印刷依頼手段とを有し、

前記生成手段による前記印刷依頼情報の生成は、前記印刷依頼手段による前記外部装置との通信前に行われることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】 前記印刷設定情報は、印刷依頼情報に基づいて印刷を実行する印刷装置において出力可能な出力体裁を示す情報であることを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】 前記印刷設定情報を格納する記憶手段を更に有し、

前記取得手段は、前記印刷依頼手段により前記外部装置と通信する際に、既に保持している印刷設定情報よりも新しい印刷設定情報を前記外部装置が保持している場合は、前記記憶手段に格納されている印刷設定情報を更新することを特徴とする請求項 1 乃至 2 記載の情報処理装置。

【請求項 4】 前記印刷依頼手段により前記外部装置と通信する前に、印刷結果を得るためにかかる費用を前記印刷設定情報に基づいて導出する導出手段を更に有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 記載の情報処理装置。

【請求項 5】 前記導出手段は、前記印刷依頼手段により前記外部装置と通信する際に、前記印刷結果を得るためにかかる費用を前記外部装置に保持されている印刷設定情報に基づいて、再導出することを特徴とする請求項 4 記載の情報処理装置。

【請求項 6】 前記印刷設定情報は、前記外部装置の CGI プログラムにより生成される HTML 形式のデータであり、前記外部装置は、出力店舗毎に印刷設定情報を管理していることを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 7】 前記生成手段は、ブラウザのプラグイン機能であり、OS のアプリケーション間通信機能を使用して、文書編集アプリケーションで編集中的文書に対する印刷依頼情報を生成することを特徴とする請求項 1 乃至 6 記載の情報処理装置。

【請求項 8】 前記外部装置とは、ダイヤルアップ形式でインターネット接続して通信することを特徴とする請求項 1 乃至 7 記載の情報処理装置。

【請求項 9】 ネットワーク上のサーバと通信し、該サーバから送られたデータを表示させるネットワーク閲覧手段を有した情報処理装置であって、

サーバ上の情報をクライアントコンピュータに取得し、保存する取得手段と、
前記クライアントコンピュータに保存された情報と、この情報とは別に取得した HTML テンプレートデータとに基づいて、ネットワーク閲覧手段により表示制御可能な HTML データを生成するための CGI 機能を有する表示データ生成手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 10】 インターネットを介して外部装置と通信可能な情報処理装置を制御する方法であって、

インターネットを介して前記外部装置から印刷設定情報を取得する取得工程と、
前記取得工程で取得した印刷設定情報に基づいて、印刷依頼情報を生成する生成工程と、

インターネットを介して前記外部装置と通信しつつ前記印刷依頼情報を送信する印刷依頼工程とを含み、

前記生成工程による前記印刷依頼情報の生成は、前記印刷依頼工程による前記外部装置との通信前に行われることを特徴とする情報処理方法。

【請求項 11】 前記印刷設定情報は、印刷依頼情報に基づいて印刷を実行する印刷装置において出力可能な出力体裁を示す情報であることを特徴とする請

求項 10 記載の情報処理方法。

【請求項 12】 前記印刷設定情報を前記情報処理装置の記憶手段に格納する記憶工程を更に含み、

前記取得工程は、前記印刷依頼工程で前記外部装置と通信する際に、既に保持している印刷設定情報よりも新しい印刷設定情報を前記外部装置が保持している場合は、前記記憶手段に格納されている印刷設定情報を更新することを特徴とする請求項 10 乃至 11 記載の情報処理方法。

【請求項 13】 前記印刷依頼工程で前記外部装置と通信する前に、印刷結果を得るためにかかる費用を前記印刷設定情報に基づいて導出する導出工程を更に含むことを特徴とする請求項 10 乃至 12 記載の情報処理方法。

【請求項 14】 前記導出工程は、前記印刷依頼工程で前記外部装置と通信する際に、前記印刷結果を得るためにかかる費用を前記外部装置に保持されている印刷設定情報に基づいて、再導出することを特徴とする請求項 13 記載の情報処理方法。

【請求項 15】 前記印刷設定情報は、前記外部装置の CGI プログラムにより生成される HTML 形式のデータであり、前記外部装置は、出力店舗毎に印刷設定情報を管理していることを特徴とする請求項 10 記載の情報処理方法。

【請求項 16】 前記生成工程は、ブラウザのプラグイン機能であり、OS のアプリケーション間通信機能を使用して、文書編集アプリケーションで編集中の文書に対する印刷依頼情報を生成することを特徴とする請求項 10 乃至 15 記載の情報処理方法。

【請求項 17】 前記外部装置と前記情報処理装置とを、ダイヤルアップ形式でインターネット接続して通信させることを特徴とする請求項 10 乃至 16 記載の情報処理方法。

【請求項 18】 ネットワーク上のサーバと通信し、該サーバから送られたデータを表示させるネットワーク閲覧手段を有した情報処理装置を制御する方法であって、

サーバ上の情報をクライアントコンピュータに取得し、保存する取得工程と、前記クライアントコンピュータに保存された情報と、この情報とは別に取得し

たHTMLテンプレートデータとに基づいて、ネットワーク閲覧手段により表示制御可能なHTMLデータを生成するためのCGI機能を有する表示データ生成工程と、

を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項19】 インターネットを介して外部装置と通信可能な情報処理装置を制御するプログラムが格納された記憶媒体であって、

インターネットを介して前記外部装置から印刷設定情報を取得する取得工程と

前記取得工程で取得した印刷設定情報に基づいて、印刷依頼情報を生成する生成工程と、

インターネットを介して前記外部装置と通信しつつ前記印刷依頼情報を送信する印刷依頼工程とを含み、

前記生成工程による前記印刷依頼情報の生成は、前記印刷依頼工程による前記外部装置との通信前に行われることを特徴とするコンピュータ読み取り可能なプログラムが格納された記憶媒体。

【請求項20】 前記印刷設定情報は、印刷依頼情報に基づいて印刷を実行する印刷装置において出力可能な出力体裁を示す情報であることを特徴とする請求項19記載の記憶媒体。

【請求項21】 前記印刷設定情報を前記情報処理装置の記憶手段に格納する記憶工程を更に含み、

前記取得工程は、前記印刷依頼工程で前記外部装置と通信する際に、既に保持している印刷設定情報よりも新しい印刷設定情報を前記外部装置が保持している場合は、前記記憶手段に格納されている印刷設定情報を更新することを特徴とする請求項19乃至20記載の記憶媒体。

【請求項22】 前記印刷依頼工程で前記外部装置と通信する前に、印刷結果を得るためにかかる費用を前記印刷設定情報に基づいて導出する導出工程を更に含むことを特徴とする請求項19乃至21記載の記憶媒体。

【請求項23】 前記導出工程は、前記印刷依頼工程で前記外部装置と通信する際に、前記印刷結果を得るためにかかる費用を前記外部装置に保持されてい

る印刷設定情報に基づいて、再導出することを特徴とする請求項 22 記載の記憶媒体。

【請求項 24】 前記印刷設定情報は、前記外部装置の CGI プログラムにより生成される HTML 形式のデータであり、前記外部装置は、出力店舗毎に印刷設定情報を管理していることを特徴とする請求項 19 記載の記憶媒体。

【請求項 25】 前記生成工程は、ブラウザのプラグイン機能であり、OS のアプリケーション間通信機能を使用して、文書編集アプリケーションで編集中の文書に対する印刷依頼情報を生成することを特徴とする請求項 19 乃至 24 記載の記憶媒体。

【請求項 26】 前記外部装置と前記情報処理装置とを、ダイヤルアップ形式でインターネット接続して通信させることを特徴とする請求項 19 乃至 25 記載の記憶媒体。

【請求項 27】 ネットワーク上のサーバと通信し、該サーバから送られたデータを表示させるネットワーク閲覧手段を有した情報処理装置を制御するプログラムが格納された記憶媒体であって、

サーバ上の情報をクライアントコンピュータに取得させ、保存させる取得工程と、

前記クライアントコンピュータに保存された情報と、この情報とは別に取得した HTML テンプレートデータとに基づいて、ネットワーク閲覧手段により表示制御可能な HTML データを生成させるための CGI プログラムを含む表示データ生成工程と、

を含むことを特徴とするコンピュータ読み取り可能なプログラムが格納された記憶媒体。

【請求項 28】 インターネットを介して外部装置と通信可能な情報処理装置を制御するコンピュータ実行可能なプログラムであって、

インターネットを介して前記外部装置から印刷設定情報を取得する取得工程と、

前記取得工程で取得した印刷設定情報に基づいて、印刷依頼情報を生成する生成工程と、

インターネットを介して前記外部装置と通信しつつ前記印刷依頼情報を送信する印刷依頼工程とを含み、

前記生成工程による前記印刷依頼情報の生成は、前記印刷依頼工程による前記外部装置との通信前に行われることを特徴とするコンピュータ実行可能なプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークを介して外部装置と通信可能な情報処理装置及び、情報処理方法及び、その制御を実現するためのプログラム記憶媒体及び、その制御プログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、クライアントコンピュータからの要求に応じて印刷要求を任意のプリントサーバ（印刷装置）に転送するネットワーク上のプリントコントローラに対して、クライアントコンピュータから印刷要求を行うシステムでは、クライアントコンピュータ上で印刷対象となる文書、印刷用紙サイズ、印刷部数などを指定する場合、プリントコントローラ上のWWW（World Wide Web）サーバにより印刷要求のためのユーザインタフェースを提供し、WWWサーバとクライアントコンピュータとの間で情報の交換を繰り返して印刷オーダーを作成、要求していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

前記のような従来のシステムでは、利用者の入力に対して、WWWサーバで対応するプリントサーバ（印刷装置）での印刷設定を行う印刷要求のためのWWWページを生成しクライアントに転送する必要がある。また、クライアントからもインターネットプリンティングサービスを受けるためにユーザIDやパスワードの入力や、出力店舗であるプリントサーバの選択や、印刷する媒体の選択など、印刷オーダーを作成する際にこまかな情報のやりとりが発生するため、印刷オーダー

の作成中にネットワーク上のデータ転送が何度も発生し、特に低速の回線を使用した場合に、ユーザインタフェースのレスポンスが悪くなるという問題があった。

【0004】

また、クライアントコンピュータがダイヤルアップ接続されている場合、プリントコントローラが提供するユーザインタフェースを使用して印刷オーダを作成するために、実際に印刷オーダをプリントコントローラに送る時だけでなく、印刷オーダ作成中もネットワークに接続する必要があり、通信コストがかさむという問題があった。

【0005】

本発明は、上記の問題に鑑みてなされたものであり、外部装置との通信時間を限りなく少なくし、かつ正しい情報を常に保持できる情報処理装置及び情報処理方法及びプログラム記憶媒体を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本願発明は、インターネットを介して外部装置と通信可能な情報処理装置であって、インターネットを介して前記外部装置から印刷設定情報を取得する取得手段と、前記取得手段で取得した印刷設定情報に基づいて、印刷依頼情報を生成する生成手段と、インターネットを介して前記外部装置と通信しつつ前記印刷依頼情報を送信する印刷依頼手段とを有し、前記生成手段による前記印刷依頼情報の生成は、前記印刷依頼手段による前記外部装置との通信前に行われるものである。

【0007】

また、印刷設定情報は、印刷依頼情報に基づいて印刷を実行する印刷装置において出力可能な出力体裁を示す情報である。

【0008】

また、印刷設定情報を格納する記憶手段を更に有し、取得手段は、印刷依頼手段により外部装置と通信する際に、既に保持している印刷設定情報よりも新しい印刷設定情報を外部装置が保持している場合は、前記記憶手段に格納されている

印刷設定情報を更新するものである。

【0009】

また、印刷依頼手段により外部装置と通信する前に、印刷結果を得るためにかかる費用を印刷設定情報に基づいて導出する導出手段を更に有するものである。

【0010】

また、導出手段は、前記印刷依頼手段により前記外部装置と通信する際に、前記印刷結果を得るためにかかる費用を前記外部装置に保持されている印刷設定情報に基づいて、再導出するものである。

【0011】

また、印刷設定情報は、外部装置のCGIプログラムにより生成されるHTML形式のデータであり、外部装置は、出力店舗毎に印刷設定情報を管理している。

【0012】

また、生成手段は、ブラウザのプラグイン機能であり、OSのアプリケーション間通信機能を使用して、文書編集アプリケーションで編集中的文書に対する印刷依頼情報を生成するものである。

【0013】

また、外部装置とは、ダイヤルアップ形式でインターネット接続して通信するものである。

【0014】

また、本願発明は、ネットワーク上のサーバと通信し、該サーバから送られたデータを表示させるネットワーク閲覧手段を有した情報処理装置であって、サーバ上の情報をクライアントコンピュータに取得し、保存する取得手段と、前記クライアントコンピュータに保存された情報と、この情報とは別に取得したHTMLテンプレートデータとに基づいて、ネットワーク閲覧手段により表示制御可能なTHMLデータを生成するためのCGI機能を有する表示データ生成手段とを有するものである。

【0015】

本願発明はまた、方法及びプログラムを格納した記憶媒体及び制御プログラム

においても同様の工程により実現される。

【0016】

【発明の実施の形態】

(第一実施例)

<システム形態>

図1は、本発明の印刷制御システムにおけるシステム構成図である。

【0017】

図1中101は、本発明の情報処理装置の一実施例であるクライアントコンピュータである。クライアントコンピュータ101は、インターネット及びネットワークを介してプリントコントローラ105の提供するネットワークプリントサービスを利用する。

【0018】

102は、クライアントコンピュータ101で動作するブラウザとして機能するネットワーク閲覧装置である。ネットワーク閲覧装置102は、インターネット及びネットワークを介してプリントコントローラ105上のWWW (World Wide Web) サーバ109から取得したHTML (HyperText Markup Language) で記述されたファイル (HTMLファイル)、またはクライアントコンピュータ101のHDD1009に格納されたHTMLファイルを解釈し、クライアントコンピュータ101 (後述するCRT1006) 上に表示する機能を持つ。

【0019】

WWWサーバ109から取得するHTMLファイルは、WWWサーバ109の存在するプリントコントローラ102上に保存されたファイルである場合と、WWWサーバを介してプリントコントローラ102上で動作するCGI (Common Gateway Interface) プログラムにより動的に生成されるファイルである場合がある。また、以下に説明する機能拡張装置を設定することにより機能の追加・拡張を行うことができる。

【0020】

103はネットワーク閲覧装置102の機能を拡張する機能拡張装置 (プラグ

イン) であり、前記ネットワーク閲覧装置 1 0 2 で HTML ファイルを解釈する時に、機能拡張装置 1 0 3 の実行を指定する記述があった場合に、記述内容に対応する機能拡張装置 1 0 3 がネットワーク閲覧装置 1 0 2 によって実行される。実行すべき機能により複数の機能拡張装置が設定される。本実施例では、例えばダウンロード用機能拡張装置のように目的を示す名前を付けて各機能拡張装置を区別する。機能拡張装置 1 0 3 の実行は、機能拡張装置 1 0 3 実行用の HTML ファイルを生成しネットワーク閲覧装置 1 0 2 に読み込ませることにより行われる。

【 0 0 2 1 】

1 0 4 はクライアントコンピュータ 1 0 1 で動作する文書編集装置であり、文字データ、図形データ、画像データなどを組み合わせて文書を作成・編集する機能およびクライアントコンピュータ 1 0 1 の HDD 1 0 0 9 にファイルとして保存する機能を有する。

【 0 0 2 2 】

1 0 5 はプリントコントローラであり、クライアントコンピュータ 1 0 1 からの印刷オーダを受け取り、印刷オーダを処理するプリントサーバを選択し印刷オーダを転送する。プリントコントローラ 1 0 5 は、インターネットを介してクライアントコンピュータ 1 0 1 と通信されるものであり、出力店舗である各プリントサーバに印刷オーダを割り振る役目をになっており、本システムの中心的な役割をはたしている。以後、プリントコントローラをセンターサーバと呼ぶこともある。

【 0 0 2 3 】

1 0 6、1 0 7、1 0 8 は出力店舗である。また、それぞれの出力店舗には、センターサーバであるプリントコントローラ 1 0 5 から受信する印刷オーダに応じて印刷処理を行うプリントサーバが少なくとも一台設置されている。各々のプリントサーバは、それぞれ固有のサービスを提供できるようになっている。例えば、用紙サイズ、記録媒体（普通紙、光沢紙、T シャツ、マグカップなど）、受け取り方法（店頭受け渡し、配送など）、支払方法（店頭支払、電子決済など）などのサービスである。これらを印刷オーダ作成中に決定するため、それぞれの

プリントサーバが提供してるサービスを印刷オーダ作成中にクライアントコンピュータ 101 で知る必要がある。

【0024】

クライアントコンピュータ 101 とプリントコントローラ 105 およびプリントコントローラ 105 とプリントサーバ 103、104、105 はインターネットで相互に結合されている。また、出力店舗であるプリントサーバ 106、107 とセンターサーバであるプリントコントローラ 105 とは、ダイヤルアップ接続されており、プリントサーバ 108 とセンターサーバとは専用線で常時接続されているものとする。

【0025】

109 は、プリントコントローラ 105 上で稼動する複数の CGI プログラムを有している WWW サーバであり、クライアントコンピュータ 101 上のネットワーク閲覧装置 102 からの HTML ファイル取得要求に応答して所望の HTML ファイルをネットワーク閲覧装置 102 に転送する。また、ネットワーク閲覧装置 102 から CGI プログラムの起動要求があった場合は、該当する CGI プログラムを起動し、CGI プログラムの実行結果として得られる HTML ファイルをネットワーク閲覧装置 102 に転送する。

【0026】

本システムでは、クライアントコンピュータ 101 のブラウザであるネットワーク閲覧装置は、プリントコントローラ 105 の WWW サーバにアクセスし、プリントコントローラ 105 で管理している画像データ（印刷用画像）のサムネイル画像を取得し、ユーザに表示して提供する。ユーザによりサムネイル画像の指定が行われると、ダウンロード機能拡張装置（プラグイン）が起動され、サムネイル画像に対応する編集用画像を文書編集装置にダウンロードする。文書編集装置 104 による編集用画像の編集が行われると、文書編集装置 104 は、どの画像 ID の画像をどの位置に貼り付け、どのように画像編集し、どの用紙サイズで作成したかを示す編集情報を生成する。その編集情報を基に、文書編集装置 104 はネットワーク閲覧装置を起動し、印刷オーダを作成する。印刷オーダを作成するために、まず後述するような方法で印刷要求のためのユーザインタフェース

を提供する。印刷オーダーが作成されると、ネットワーク閲覧装置がセンターサーバであるプリントコントローラ 105 にインターネット接続し、WWWサーバに対して印刷オーダーを転送する。

【0027】

プリントコントローラ 105 は、WWWサーバが受信した印刷オーダーに応じて、その印刷オーダー中に指定されているプリントサーバから出力店舗を検出し、その出力店舗の印刷オーダーリストに登録しておく。ここで常時接続のプリントサーバ 108 である場合は、プリントコントローラ 105 は、該印刷オーダーで画像 ID 指定されている印刷用画像を取得し、印刷オーダーと印刷用画像とをプリントサーバ 108 に転送し、ダイヤルアップ接続のプリントサーバである場合は、プリントコントローラ 105 内で管理している印刷オーダーリストに登録したままプリントサーバ 106、107 からのダイヤルアップ接続を待つことになる。プリントサーバ 106、107 からプリントコントローラ 105 にダイヤルアップ接続してきた場合は、プリントコントローラ 105 は、自身で管理している印刷オーダーリストを検索して、該当するプリントサーバに印刷オーダーがあるかを判断し、印刷オーダーが注文されている場合は、印刷オーダーと予め取得しておいた印刷用画像とをプリントサーバに送信する。

【0028】

出力店舗であるプリントサーバでは、インターネットを介してセンターサーバから受信した印刷オーダーと印刷用画像とに基づいて、印刷用画像を印刷すべき形態に画像編集し、印刷オーダーで指定された形式で印刷出力を行う。印刷出力を行った印刷オーダーは、専用線もしくはダイヤルアップ接続をしてプリントコントローラ 105 に印刷終了通知する。印刷終了通知を受けたプリントコントローラ 105 は、管理している印刷オーダーリストの該当する印刷オーダーのステータスを印刷終了に変更し、印刷オーダーを発行したクライアントコンピュータに対して、Eメールを用いて印刷終了を知らせる。

【0029】

<クライアントコンピュータのブロック図>

図2はクライアントコンピュータのシステム構成を示すブロック図である。

【0030】

図2中1001は本装置全体の制御を司るCPUである。

【0031】

1002はRAMであり、CPU1001の主メモリとして、及び実行プログラムのワークエリアや一時待避領域として機能する。

【0032】

1003はCPU1001の動作処理手順を記憶しているROMである。ROM1003にはプリントサーバの機器制御を司るシステムプログラムや図5、8、15、16の処理フローで表されるプログラムを記録したプログラムROMと、システムを稼動するために必要な情報等が記憶されたデータROMがある。

【0033】

1004は通信部であり、プリントコントローラとのデータ転送制御を行う。プリントコントローラ105との通信は、公衆回線を用いたダイヤルアップのインターネット接続であってもよいし、専用線を用いてプロキシサーバとLAN接続されていてもよい。

【0034】

1005はビデオRAM（VRAM）で、システムの稼動状態を示すCRT1006の画面に表示される画像を展開し、その表示の制御を行う。

【0035】

1007はキーボードなどの外部入力装置からの入力信号を制御するためのキーボードコントローラである。

【0036】

1008は操作を受け付けるための外部入力装置であり、一般にはキーボードやポインティングデバイス（マウスなど）を示している。

【0037】

1009はハードディスクドライブ（HDD）を示し、前記ネットワーク閲覧装置102、機能拡張装置103、文書編集装置104および文書編集装置104を使用して作成される文書ファイルの保存用に用いられる。また、後述するように、センターサーバから取得する出力店舗のショップ情報もここに格納される

【0038】

1010はフロッピーディスクなどのリムーバブルディスクドライブ（FDD）を示し、後述するアプリケーションプログラムの媒体からの読み出しなどに用いられる。

【0039】

1000は上述した各ユニット間を接続するためのI/Oバス（アドレスバス、データバスおよび制御バス）である。

【0040】

<プリントコントローラのブロック図>

図3はプリントコントローラのシステム構成を示すブロック図である。

【0041】

図3中2001は本装置全体の制御を司るCPUである。

【0042】

2002はRAMであり、CPU2001の主メモリとして、及び実行プログラムのワークエリアや一時待避領域として機能する。

【0043】

2003はCPU2001の動作処理手順を記憶しているROMである。ROM2003にはプリントコントローラの機器制御を司るシステムプログラムや図18の処理フローで表されるプログラムを記録したプログラムROMと、システムを稼動するために必要な情報等が記憶されたデータROMがある。

【0044】

2004は通信部であり、後述するプリントサーバとのデータ転送制御や、クライアントコンピュータ101と本システムを繋ぐためのネットワークシステム（インターネット等）とのデータ転送を行うためのデータ制御や診断を行う。これにより、クライアントコンピュータ101から編集情報を受信し、プリントサーバに転送を行う。

【0045】

2005はビデオRAM（VRAM）で、システムの稼動状態を示すCRT2

006の画面に表示される画像を展開し、その表示の制御を行う。

【0046】

2007はキーボードなどの外部入力装置からの入力信号を制御するためのキーボードコントローラである。2008は操作を受け付けるための外部入力装置であり、一般にはキーボードやポインティングデバイス（マウスなど）を示している。

【0047】

2009はハードディスクドライブ（HDD）を示し、WWWサーバプログラムやプリントサーバ情報のデータ保存用に用いられる。

【0048】

2010はフロッピーディスクなどのリムーバブルディスクドライブ（FDD）を示し、後述するアプリケーションプログラムの媒体からの読み出しなどに用いられる。

【0049】

2000は上述した各ユニット間を接続するためのI/Oバス（アドレスバス、データバスおよび制御バス）である。

【0050】

プリントコントローラ105には、クライアントコンピュータ101上のネットワーク閲覧装置102からの要求に応じて、固定のHTMLファイルをネットワーク閲覧装置102に転送したり、ネットワーク閲覧装置102からの要求に応じて、HDD2009に格納された前記CGIプログラムにより動的に生成されたHTMLファイルをネットワーク閲覧装置102に転送するWWWサーバ109が稼動している。

【0051】

WWWサーバ109は、HDD2009上に格納されたWWWサーバプログラムを起動することにより稼動状態となる。稼動状態のWWWサーバ109にネットワークを介してクライアントコンピュータ101上のネットワーク閲覧装置102からCGIプログラムの実行要求が来ると、WWWサーバ109は、対応するCGIプログラムを実行し、実行結果として得られるHTMLファイルをネッ

トワークを介してクライアントコンピュータ 101 上のネットワーク閲覧装置に転送する。

【0052】

<プリントサーバのブロック図>

図4はプリントサーバのシステム構成を示すブロック図である。

【0053】

図4中3001は本装置全体の制御を司るCPUである。通信部3004から受信した編集情報から出力画像を生成する制御を行う。

【0054】

3002はRAMであり、CPU3001の主メモリとして、及び実行プログラムのワークエリアや一時待避領域として機能する。

【0055】

3003はCPU3001の動作処理手順を記憶しているROMである。ROM3003にはプリントサーバの機器制御を司るシステムプログラムや印刷オーダーに応じて印刷用画像の画像編集を行うための画像編集プログラムを記録したプログラムROMと、システムを稼動するために必要な情報等が記憶されたデータROMがある。

【0056】

3004は通信部であり、プリントコントローラとのデータ転送制御や、他のプリントサーバやイメージサーバとのイメージデータ転送を行うための制御や診断を行う。

【0057】

3005はビデオRAM (VRAM) で、システムの稼動状態を示すCRT 3006の画面に表示される画像を展開し、その表示の制御を行う。

【0058】

3007はキーボードなどの外部入力装置からの入力信号を制御するためのキーボードコントローラである。3008は操作を受け付けるための外部入力装置であり、一般にはキーボードやポインティングデバイス (マウスなど) を示している。

【0059】

3009はハードディスクドライブ（HDD）を示し、プリントコントローラ105からの印刷要求を処理するプログラムの保存用に用いられる。

【0060】

3010はフロッピーディスクなどのリムーバブルディスクドライブ（FDD）を示し、後述するアプリケーションプログラムの媒体からの読み出しなどに用いられる。

【0061】

3011はプリンタ制御部であり、プリンタ3012の制御と出力する画像の制御を行う。

【0062】

3012はプリントサーバで印刷出力を行うためのプリンタであり、一つのプリントサーバで複数のプリンタを接続することが可能となっている。3000は上述した各ユニット間を接続するためのI/Oバス（アドレスバス、データバスおよび制御バス）である。

【0063】

<動作説明>

以下に図を参照して、本システムの全体的な動作説明を行う。

【0064】

<プリントサーバの登録>

利用者は、印刷システムを利用する前にクライアントコンピュータ101からネットワーク閲覧装置102を使用して、一旦プリントコントローラ105のWWサーバ109に接続して、利用予定のプリントサーバの登録を行う。

【0065】

図5は、クライアントコンピュータ101におけるプリントサーバ登録処理の制御を説明するフローチャートである。以下、このフローチャートに基づいて、クライアントコンピュータ101の制御を説明する。

【0066】

なお、このフローチャートに基づく処理は、文書編集装置104である文書編

集アプリケーションをクライアントコンピュータで起動している際に、操作者により「出力店舗の登録」のメニューを選択することにより実行される。文書編集アプリケーションは、OSを介してブラウザ（ネットワーク閲覧装置）を立ち上げることにより、以下の処理が開始される。

【0067】

STEP 501では、利用者が文書編集アプリケーションの「出力店舗の登録」のメニューをマウスなどのポインティングデバイス进行操作することにより選択すると、ネットワーク閲覧装置103のURL（Uniform Resource Locators：RFC1738参照）指定機能により、WWWサーバ109上のプリントサーバ登録ページのURLが指定され、クライアントコンピュータ101は、通信部1004を介してネットワーク閲覧装置103からプリントコントローラ105上のWWWサーバ109にHTMLファイルの取得要求を送信する。

【0068】

HTMLファイルの取得要求に含まれるHTMLファイルのURLに対応するHTMLファイルがWWWサーバから送信されると、STEP 502に処理が移る。

【0069】

STEP 502では、ネットワーク閲覧装置102は、プリントコントローラ105上のWWWサーバ109から取得したHTMLファイルを解釈して図6に示すプリントサーバ登録ページをCRT1006に表示する。

【0070】

図6の601はプリントサーバ名表示／選択エリア、602は登録ボタンである。利用者がプリントサーバ名表示／選択エリア601で任意のプリントサーバ名のチェックボックス603をチェック状態にすることにより任意個数のプリントサーバ名を選択状態にすることができる。

【0071】

STEP 503では、ネットワーク閲覧装置102は、登録ボタン602が押下されたか否かを判定する。利用者により外部入力装置1008を介して登録ボ

タン 602 が押下された場合は STEP 504 に進む。

【0072】

STEP 504 では、ネットワーク閲覧装置 102 によりプリントコントローラ 105 上の WWWサーバ 109 にプリントサーバ情報ダウンロード用 CGI プログラムの実行要求が送信される。ここで要求されるプリントサーバ情報は、図 6 のチェックボックス 603 がチェックされているプリントサーバのプリントサーバ情報である。

【0073】

プリントコントローラ 105 上の WWWサーバ 109 により、CGI プログラムの実行要求に指定された CGI プログラムが起動され、実行結果として出力される HTML ファイルを要求元のネットワーク閲覧装置 102 が受信すると、STEP 505 に処理が移る。

【0074】

プリントサーバ情報ダウンロード用 CGI プログラムは、引数として渡されたプリントサーバ名に対応するプリントサーバ情報ファイルをダウンロードするためのプリントサーバ情報ダウンロード用機能拡張装置（プラグイン）を実行するための HTML ファイルを生成する。この時、プリントサーバ情報ダウンロード用機能拡張装置（プラグイン）のデータとしてプリントコントローラ 105 上のダウンロードすべきプリントサーバのプリントサーバ情報ファイルの URL のリストが渡される。

【0075】

STEP 505 では、プリントサーバ情報ダウンロード用 CGI プログラムの実行結果としてプリントコントローラ 105 上の WWWサーバ 109 からネットワーク閲覧装置 102 に転送された HTML ファイルをネットワーク閲覧装置 102 に読み込みプリントサーバ情報ダウンロード用機能拡張装置を実行する。プリントサーバ情報ファイルの内容の例を図 7 に示す。プリントサーバ情報ダウンロード機能拡張装置は、データとして渡された URL にある出力店舗のショップ情報であるプリントサーバ情報（以下、ショップ情報とも言う）の HTML ファイルをセンターサーバからダウンロードし、クライアントコンピュータ 101 の

HDD1009にプリントサーバ名をファイル名とするファイルとして保存する。

【0076】

図7では、ショップ情報ファイルとして、用紙サイズと値段を示しているが、この情報以外にも、「出力形態＝ハガキ、普通紙、光沢紙、Tシャツ、マグカップ」、「支払方法＝電子決済、店頭支払」、「受け取り方法＝配送、店頭受け渡し」などの情報を持たせてもよい。

【0077】

図18に、プリントコントローラ105上のWWWサーバの処理フローを示す。以下の処理は、クライアントコンピュータ101から「出力店舗の登録」処理が行われた場合に、センターサーバで行われる処理である。

【0078】

ネットワーク閲覧装置103からの要求が受信されると、STEP1801で、WWWサーバ109は、要求がHTMLファイルの取得要求か否かを判定する。HTMLファイルの取得要求と判定した場合は、STEP1802に処理を進め、HTMLファイルの取得要求でないと判定された場合は、STEP1803に処理を進める。本システムを始めて使用するクライアントコンピュータ101からアクセスされた場合は、クライアントコンピュータはショップ情報があるURLを知らないはずなので、まずCGIプログラム実行要求であるのでSTEP1803処理が進む。

【0079】

STEP1802では、WWWサーバ109は、HTMLファイルの取得要求に含まれるHTMLファイルのURLに対応するHTMLファイルを要求元のネットワーク閲覧装置102に転送する。

【0080】

STEP1803では、WWWサーバ109は、ネットワーク閲覧装置102からの要求がCGIプログラムの実行要求か否かを判定する。CGIプログラムの実行要求と判定した場合は、STEP1604に処理を進め、CGIプログラムの実行要求でないと判定された場合は、要求処理を終了する。

【0081】

STEP1804では、プリントコントローラ105上のWWWサーバ109は、CGIプログラムの実行要求に指定されたCGIプログラムを起動し、実行結果として出力されるHTMLファイルを要求元のネットワーク閲覧装置102に転送する。プリントサーバ情報ダウンロード用CGIプログラムは、引数として渡されたプリントサーバ名に対応するプリントサーバ情報ファイルをダウンロードするためのプリントサーバ情報ダウンロード用機能拡張装置を実行するためのHTMLファイルを生成する。この時、プリントサーバ情報ダウンロード用機能拡張装置のデータとしてプリントコントローラ105上のダウンロードすべきプリントサーバのプリントサーバ情報ファイルのURLのリストが渡される。プリントサーバ情報（ショップ情報）ファイルの内容の例を図7に示す。

【0082】

＜印刷対象文書の作成＞

利用者は、クライアントコンピュータ101上の文書編集装置104の文書作成／編集機能によりプリントサーバ106で印刷する印刷対象文書を作成する。本実施例では、文書編集装置104とは、例えばデスクトップパブリッシング用のアプリケーションソフトウェアである。本文書編集アプリケーションは、画像編集処理に先立ってブラウザ102を立ち上げ、センターサーバ105から高解像度の印刷用画像に対応する低解像度の編集用画像をダウンロードし、編集用画像の画像編集を行う。画像編集済みの編集ファイルを印刷する際には、後述する印刷オーダ作成処理を終えた後、ブラウザ102を立ち上げ、インターネットを介してセンターサーバ105に接続して印刷オーダを送信する。なお、この印刷オーダは、スクリプト形式の編集情報と画像IDとからなるファイルであり、データ量として非常に軽いものである。よって、ネットワーク（インターネット）を転送する際の負荷は非常に軽いものとなり、クライアントコンピュータのインターネット接続時間も短くなり、ユーザにとって好条件な仕組みとなっている。

【0083】

＜ネットワークプリントの実行＞

クライアントコンピュータ101上のネットワーク閲覧装置102を用いたネ

ットワークプリント実行処理の処理フローを図 8 に示す。

【0084】

STEP 801 では、利用者により文書編集装置 104 のネットワークプリントコマンドやユーザインタフェースの印刷ボタンが選択されることにより、文書編集装置 104 は編集集中の文書の印刷要求を開始する。

【0085】

STEP 802 では、文書編集装置 104 は HDD 1009 上のネットワークプリント開始用 HTML ファイルのパスを引数としてネットワーク閲覧装置 102 を起動する。ネットワークプリント開始用 HTML ファイルは文書編集装置 104 をクライアントコンピュータ 101 に導入する時に、導入プログラムにより HDD 1009 に保存され、そのパスが文書編集装置 104 の各種設定を保存する設定ファイルに記録される。文書編集装置 104 は設定ファイルからネットワークプリント開始用 HTML ファイルのパスを得る。

【0086】

ネットワーク閲覧装置 102 は、起動時に指定されたネットワークプリント開始用 HTML ファイルを読み込み表示する。

【0087】

ネットワークプリント開始用 HTML ファイルには、ネットワークプリント開始用機能拡張装置を読み込むためのタグが含まれている。ネットワークプリント開始用機能拡張装置は、ネットワークプリント用データの生成を文書編集装置 104 に要求する機能を有するネットワーク閲覧装置 102 の機能拡張装置 103 である。

【0088】

STEP 803 では、ネットワークプリント開始用機能拡張装置は、クライアントコンピュータ 101 上で動作している OS のアプリケーション間通信機能を使用して、文書編集装置 104 に編集集中の文書に対するネットワークプリント用データの生成を依頼する。

【0089】

STEP 804 では、文書編集装置 104 は、編集集中の文書に対するネットワ

ークプリント用データを生成する。このプリント用データは、前述したゆに、画像を編集した履歴情報であるスクリプト形式の編集情報と使用されている画像のIDとを含んでいる。

【0090】

同時に、ネットワーク閲覧装置上に印刷対象のプレビューを表示するための低解像度の画像であるプレビューイメージを生成する。

【0091】

STEP 805では、文書編集装置104はクライアントコンピュータ101上で動作しているOSのアプリケーション間通信機能を使用して、生成したネットワークプリント用データファイル、プレビューイメージファイルのパスをネットワークプリント開始用拡張装置に通知する。

【0092】

STEP 806では、ネットワークプリント開始用機能拡張装置は、通知されたプレビューイメージファイルの表示および印刷詳細情報の設定を行う印刷詳細情報設定ページを表示するためのHTMLファイルを生成し、ネットワーク閲覧装置102で提供される機能を使用してネットワーク閲覧装置102に表示させる。

【0093】

前記HTMLファイルには、印刷オーダ生成用機能拡張装置を読み込むためのタグが含まれる。印刷オーダ生成用機能拡張装置は、ネットワーク閲覧装置102に、利用者に印刷オーダに必要な設定を行うユーザインタフェースを提供し、印刷オーダ情報を記述した印刷オーダファイルを生成する機能を付加する機能拡張装置103である。

【0094】

図9は、印刷詳細情報設定ページである。図9の左部分には文書編集装置104により生成されたプレビューイメージがネットワーク閲覧装置102によってプレビューイメージ表示エリア901に表示される。プレビューイメージ表示エリア901の右側には印刷オーダ生成用機能拡張装置により表示される印刷詳細情報表示エリア902が表示される。印刷詳細情報表示エリア902には、プリ

ントサーバ名、印刷用紙サイズおよび印刷部数を入力する印刷詳細情報設定エリア903と、印刷オーダの生成を開始する決定ボタン904がある。また、図9中905はプリントサーバ名を選択するためのポップアップリストである。ポップアップリスト905に表示される項目は、プリントコントローラ105から取得し、HDD1009に保存されているプリントサーバ情報ファイルのファイル名をリストアップしたものである。プリントサーバ名をポップアップリスト905から選択すると、印刷オーダ生成用機能拡張装置103によってプリントサーバ名に対応するプリントサーバのプリントサーバ情報ファイル（ショップ情報ファイル）がSTEP505で格納されているHDD1009から読み込まれ、印刷用紙サイズポップアップリストの項目が更新される。

【0095】

利用者は、印刷詳細情報設定エリア903の値を変更して所望の印刷設定を行う。

【0096】

STEP807では、決定ボタン904が押下されたか否かを判定する。利用者が決定ボタン904を押下すると、STEP808で、印刷オーダ生成用機能拡張装置は印刷詳細情報設定エリア903の値を取得して印刷オーダファイルを生成する。

【0097】

図10に印刷オーダファイルの例を示す。印刷オーダファイルには、ネットワークプリント用データファイル名、使用するプリントサーバ名、印刷用紙サイズ、印刷部数が記述される。

【0098】

STEP808の段階では、図9に示すように、「出力店舗（プリントサーバ）」、「用紙サイズ」、「印刷部数」を決定しているが、図9の印刷詳細情報の設定の画面において、更に「出力形態」として「普通紙、光沢紙」から選択させることにより、図10の印刷オーダファイルの情報の増やすことは可能である。

【0099】

STEP809では、印刷オーダ生成用機能拡張装置は、前述した図5のST

EP505でHDD1009に保存されたプリントサーバ情報から前記印刷オーダーに対する料金の見積もりを計算し、料金表示ページのHTMLを生成し、ネットワーク閲覧装置102によって提供される機能を使用して該HTMLをネットワーク閲覧装置102に表示させる。

【0100】

料金表示ページの例を図11に示す。料金表示ページのHTMLには印刷オーダー要求用機能拡張装置を読み込むためのタグが含まれる。印刷オーダー要求用機能拡張装置は、料金表示ページに機能実行のためのボタンを表示し、ボタン押下に応答して対応する機能を実行するネットワーク閲覧装置102の機能拡張装置103である。

【0101】

料金表示ページには、ネットワーク閲覧装置102により表示される前記印刷オーダーの詳細1101と料金見積もりおよび印刷オーダー要求用機能拡張装置により表示される実行1102、保存1103、取り消し1104の各ボタンが表示される。

【0102】

STEP810では、実行ボタン1102が押下されたか否かを判定する。実行ボタンが押下されていない場合はSTEP811に進む。利用者が外部入力装置1008を介して実行ボタン1102を押下したと判定された場合は、STEP812で、印刷オーダー要求用機能拡張装置（プラグイン）103は、前述した印刷オーダーファイルに更に料金情報を書き込み、ブラウザ102からセンタサーバ105にダイヤルアップ接続を行い、セッションを確立する。その後、印刷オーダー要求用プラグイン103は、プリントコントローラ105へネットワークプリント用データファイル、印刷オーダーファイルを送信し、プリントコントローラ105上の印刷オーダー要求用CGIを実行することにより印刷の実行を要求する。プリント用データファイルと印刷オーダーファイルとを合わせて、印刷オーダーと以後呼ぶことにする。同時に、印刷オーダー要求用機能拡張装置103は、クライアントコンピュータ101上のHDD1009に存在するプリントサーバ情報ファイルに対応するプリントコントローラ105上のプリントサーバ情報ファイ

ルをダウンロードしてHDD1009上のプリントサーバ情報ファイルを更新する。

【0103】

印刷要求が実行されるとプリントコントローラ105上のプリントサーバ情報を使用して改めて印刷料金の計算が行われ図11から保存ボタン1103を取った状態の料金表示ページが表示される。この状態で利用者が外部入力装置1008を介して実行ボタン1102を押下するとプリントコントローラ105上のCGIが起動され印刷実行後に処理を終了する。

【0104】

本実施例では、印刷要求を行った後に、再度料金の確認を利用者にとっているが、ショップ情報がクライアント101で保持しているものと、センターサーバ105で管理しているものとが更新日時が同じ場合は、料金確認を省略することも可能である。このようにすることで利用者の手間を更に減らすことができる。更新日時の判断は、印刷オーダ要求用プラグイン103が印刷オーダ内にショップ情報の更新日時を付加してセンターサーバ105に送信し、センターサーバ内で管理してるショップ情報の更新日時とを比較して、更新日時が異なっている場合のみ、印刷料金の再表示のためのページであるHTMLファイルをブラウザ102に表示させるようにする。または、更新日時の判断は、印刷オーダ要求プラグイン103がセンターサーバ105にセッションを確立後すぐにセンターサーバ105から出力店舗のショップ情報の更新日時の情報だけを取得し、クライアントコンピュータ101のHDDに管理しているショップ情報の更新日時とを比較し、異なっているのみ、センターサーバ105のWWWサーバに料金計算のCGIプログラムを実行する要求を送信するようにしてもよい。

【0105】

STEP810で実行ボタンが押下されない場合は、STEP811に処理を進め、保存ボタン1103が押下されたか否かを判定する。保存ボタン1103が押下されていない場合はSTEP814に進む。

【0106】

利用者により外部入力装置1008を介して保存ボタン1103が押下された

と判定された場合は、STEP 813で、印刷オーダ要求用機能拡張装置 103 はHDD 1009上の所定の位置に前記印刷オーダ用のディレクトリが作成されネットワークプリント用データファイル、印刷オーダファイルをコピーして処理を終了する。また、保存ボタン 1103 押下により、コピーされたネットワークプリント用データファイル、印刷オーダファイルは、後述するように後でまとめて転送／印刷実行を行うことができる。

【0107】

STEP 814では、取り消しボタン 1104 が押下されたか否かを判定する。取り消しボタン 1104 が押下されていない場合はSTEP 810に進む。利用者により取り消しボタン 1104 が押下された場合は、STEP 815で、印刷オーダ要求用機能拡張装置 103 によってネットワークプリント用データファイル、印刷オーダファイルが削除され、処理を終了する。

【0108】

<印刷オーダファイルの一括印刷>

利用者は、文書編集装置 104 の印刷オーダ実行コマンドを選択することによりクライアントコンピュータ 101 上のHDD 1009に保存された印刷オーダを使用した印刷要求を開始する。

【0109】

文書編集装置 104 はHDD 1009上の印刷オーダ実行用HTMLファイルのパスを引数としてネットワーク閲覧装置 102 を起動し、ネットワーク閲覧装置 102 に印刷オーダ実行ページを表示させる。

【0110】

印刷オーダ実行用HTMLファイルには、印刷オーダ実行用機能拡張装置を読み込むためのタグが含まれている。印刷オーダ実行用機能拡張装置は、ネットワーク閲覧装置 102 上に印刷オーダファイルの選択用および印刷オーダ実行用ボタンを表示し、ボタンの押下によって印刷オーダファイルの選択処理または印刷オーダの実行処理を行う機能をネットワーク閲覧装置 102 に付加する機能拡張装置 103 である。

【0111】

図 12 に印刷オーダー実行ページの例を示す。印刷オーダー実行ページには、ネットワーク閲覧装置 102 によって表示される印刷オーダー名リスト 1201 と、印刷オーダー実行用機能拡張装置によって表示される印刷オーダー選択ボタン 1202、印刷オーダー実行ボタン 1203 が表示される。

【0112】

利用者が外部入力装置 1008 を介して印刷オーダー選択ボタン 1202 を押下すると、クライアントコンピュータ 101 で実行されている OS に標準のファイル選択ダイアログボックスが表示される。ファイル選択ダイアログボックス上のファイル指定エリアで HDD 1009 に保存された印刷オーダーファイルを指定し、ファイル選択ダイアログボックス上の選択用ボタンが押下されると、印刷オーダー実行用機能拡張装置によって指定された印刷オーダー名リスト 1201 にファイル選択ダイアログボックスで選択された印刷オーダーファイル名が追加された印刷オーダー名リスト 1201 を含む印刷オーダー実行ページの HTML ファイルが HDD 1009 上に生成されネットワーク閲覧装置 102 上に表示される。

【0113】

利用者が、外部入力装置 1008 を介して印刷オーダー実行ボタン 1203 を押下すると、印刷オーダー実行用機能拡張装置によって、印刷オーダーファイル名リスト 1201 に表示されている各印刷オーダーファイルについて、印刷オーダーファイルと該印刷オーダーファイルに記述されているネットワークプリント用データファイルをプリントコントローラ 105 に送信し、プリントコントローラ 105 上の印刷オーダー要求用 CGI を実行させることにより印刷要求が実行される。印刷オーダー要求用 CGI の引数には該印刷オーダーを実行するプリントサーバ名を渡す。

【0114】

＜プリントコントローラの動作＞

利用者が外部入力装置 1008 を介して料金表示ページの実行ボタン 1102 を押下し、プリントコントローラ 105 上の CGI が実行されると、プリントコントローラ 105 は CGI の引数としてクライアントコンピュータ 101 から渡されたプリントサーバ名に対応するプリントサーバに対し、該印刷オーダーファイ

ルおよび該印刷オーダーファイルに記述されたネットワークプリント用データファイルおよびネットワークプリント用データファイルに記述されている画像IDで示される印刷用画像とを転送し、該プリントサーバに印刷実行を要求する。クライアントコンピュータ101からの印刷要求が複数印刷オーダーを含む場合は、各々の印刷オーダーファイルについて前記処理を繰り返す。

【0115】

プリントコントローラ105のHDD2009には、プリントサーバ名と該プリントサーバのネットワークアドレスの対応を示す図13の対応テーブルが保存されている。前記印刷実行要求は、このテーブルからプリントサーバのネットワークアドレスを得て行われる。

【0116】

＜プリントサーバでの印刷＞

プリントサーバ104、105、106は、プリントコントローラ105からの印刷要求（印刷オーダー）を受け取ると、転送された印刷オーダーファイルに記述された用紙サイズ、印刷部数に従って、印刷オーダーに含まれるネットワークプリント用データファイルと印刷用画像とに基づいて、印刷用画像を編集情報に応じて画像編集し、編集した結果の出力用データをPRTC3011を介してPRT3012に送って印刷する。

【0117】

＜媒体からのプログラムのロード＞

図14は、本実施案のクライアントコンピュータにおける文書編集装置、ネットワーク閲覧装置、同機能拡張装置の各プログラムの外部記憶媒体（フロッピーディスクやCD-Rなどのリムーバブルディスク）内でのメモリマップの一例である。

【0118】

図14において、1401はディレクトリ情報を記憶してある領域で、文書編集装置104及びネットワーク閲覧装置102の各モジュールのプログラムの記憶場所1402を示している。

【0119】

更に、領域 1402 のネットワーク閲覧装置 102 の記憶場所では、ネットワーク閲覧装置 102 で使用する機能拡張装置 103（プラグインモジュール）のプログラムの記憶場所 1403 を示している。

【0120】

文書処理装置 104 のプログラムは、FDD 1010 において本メモリマップのプログラムが領域 1402 から読み込まれることによりインストールされて、RAM 1002 にロードされる。また同様にネットワーク閲覧装置 102 のプログラムは、FDD 1010 において本メモリマップのプログラムが領域 1402 から読み込まれることによりインストールされて、RAM 1002 にロードされる。この時に領域 1403 から機能拡張装置 103 のプログラムが RAM 1002 にロードされ、ネットワーク閲覧装置 102 に連動して使用される。

【0121】

また、本実施例の図 5、8、15（後述する）、16（後述する）に示されているフローチャートで CPU 1001 が制御されるプログラムも同様に記憶媒体に格納されている。

【0122】

＜ネットワーク閲覧装置の拡張＞

本実施例では、ネットワーク閲覧装置 102 に機能拡張装置（プラグイン）103 を付加することにより、同ネットワーク閲覧装置 102 の機能を拡張させて処理を行わせたが、102 および 103 の両機能を包含した独自のネットワーク閲覧専用アプリケーションプログラムを別に用意して、それらの機能を代用させることも可能である。

【0123】

上記で説明したように、本発明の印刷制御装置を用いることにより、ネットワーク閲覧装置 102 を介して対話的に処理を行うサービスにおいて、必要時のみにネットワークへの接続を行うこと可能することにより、通信費用の削減を行うことが可能となる。また、通信速度の低い環境では、不要な通信がなくなることにより対話処理のレスポンスが良くなる効果がある。

【0124】

(第二実施例)

本発明の第二実施例を以下に説明する。なお、システム構成は第一実施例と同じである。

【0125】

＜ネットワークプリントの実行＞

クライアントコンピュータ101上のネットワーク閲覧装置102を用いたネットワークプリント実行処理のフローを図15に示す。

【0126】

STEP1501では、利用者により文書編集装置104のネットワークプリントコマンドもしくはユーザインタフェースを用いた印刷ボタンが選択することにより、文書処理装置104は編集中の文書の印刷要求を開始する。

【0127】

STEP1502では、文書編集装置104はHDD1009上のネットワークプリント開始用HTMLファイルのパスを引数としてネットワーク閲覧装置102を起動する。ネットワーク開始用HTMLファイルは文書編集装置104をクライアントコンピュータ101に導入する時に、導入プログラムによりHDD1009に保存され、そのパスが文書編集装置104の各種設定を保存する設定ファイルに記録される。

【0128】

ネットワーク閲覧装置102は、起動時に指定されたネットワークプリント開始用HTMLファイルを読み込み表示する。

【0129】

ネットワークプリント開始用HTMLファイルには、ネットワークプリント開始用機能拡張装置を読み込むためのタグが含まれている。ネットワークプリント開始用機能拡張装置は、ネットワークプリント用データの生成を文書編集装置104に要求する機能を有するネットワーク閲覧装置102の機能拡張装置103である。

【0130】

STEP 1503では、ネットワークプリント開始用機能拡張装置は、クライアントコンピュータ101上で動作しているOSのアプリケーション間通信機能を使用して、文書編集装置104に編集中の文書に対するネットワークプリント用データの生成を依頼する。

【0131】

STEP 1504では、文書編集装置104は、編集中の文書に対するネットワークプリント用データを生成する。

【0132】

同時に、ネットワーク閲覧装置上に印刷対象のプレビューを表示するための低解像度の画像であるプレビューイメージを生成する。

【0133】

STEP 1505では、文書編集装置104はクライアントコンピュータ101上で動作しているOSのアプリケーション間通信機能を使用して、生成したネットワークプリント用データファイル、プレビューイメージファイルのパスをネットワークプリント開始用拡張装置に通知する。

【0134】

STEP 1506では、ネットワークプリント開始用機能拡張装置は、通知されたプレビューイメージファイルの表示および印刷詳細情報の設定を行う印刷詳細情報設定ページを表示するためのHTMLファイルを生成し、ネットワーク閲覧装置102で提供される機能を使用してネットワーク閲覧装置102に表示させる。

【0135】

前記HTMLファイルには、印刷オーダ生成用機能拡張装置を読み込むためのタグが含まれる。印刷オーダ生成用機能拡張装置は、ネットワーク閲覧装置102に、利用者に印刷オーダに必要な設定を行うユーザインタフェースを提供し、印刷オーダ情報を記述した印刷オーダファイルを生成する機能を付加する機能拡張装置103である。

【0136】

STEP 1507では、決定ボタン904が押下されたか否かを判定する。利用者が決定ボタン904を押下すると、STEP 1508で、印刷オーダ生成用機能拡張装置は印刷詳細情報設定エリア903の値を取得して図10で前述した印刷オーダファイルを生成する。

【0137】

STEP 1509では、印刷オーダ生成用機能拡張装置は、HDD 1009に保存されたプリントサーバ情報から前記印刷オーダに対する料金の見積もりを計算し、図11で前述した料金表示ページのHTMLを生成し、ネットワーク閲覧装置102によって提供される機能を使用して該HTMLをネットワーク閲覧装置102に表示させる。

【0138】

STEP 1510では、印刷オーダ要求用機能拡張装置は実行ボタン1102が押下されたか否かを判定する。実行ボタンが押下されていない場合はSTEP 1511に進む。利用者が外部入力装置1008を介して実行ボタン1102を押下した場合はSTEP 1512に進む。

【0139】

STEP 1512では、印刷オーダ要求用機能拡張装置はネットワークプリント用データファイル、印刷オーダファイルを一つのファイルに結合しアーカイブファイルを作成した後、圧縮して印刷オーダ圧縮ファイルを作成する。印刷オーダ要求用機能拡張装置は生成した印刷オーダ圧縮ファイルをプリントコントローラ105へ送信し、プリントコントローラ105上の印刷オーダ要求用CGIを実行することにより印刷の実行を要求する。同時に、印刷オーダ要求用機能拡張装置は、クライアントコンピュータ101上に存在するプリントサーバ情報ファイルに対応するプリントコントローラ105上のプリントサーバ情報ファイルをダウンロードしてHDD 1009上のプリントサーバ情報ファイルを更新する。

【0140】

印刷要求が実行されるとプリントコントローラ105上のプリントサーバ情報を使用して改めて印刷料金の計算が行われ図11から保存ボタン1103を取っ

た状態の料金表示ページが表示される。この状態で利用者が外部入力装置 1008 を介して実行ボタン 1102 を押下するとプリントコントローラ 105 上の C G I が起動され印刷実行後に処理を終了する。

【0141】

S T E P 1511 では、保存ボタン 1103 が押下されたか否かを判定する。保存ボタン 1103 が押下されていない場合は S T E P 1514 に進む。

【0142】

利用者が外部入力装置 1008 を介して保存ボタン 1103 を押下した場合は、S T E P 1513 で、印刷オーダ要求用機能拡張装置 103 は H D D 1009 上の所定の位置に前記印刷オーダ用のディレクトリが作成されネットワークプリント用データファイル、印刷オーダファイルをコピーして処理を終了する。また、保存ボタン 1103 押下により、コピーされたネットワークプリント用データファイル、印刷オーダファイルは、後述するように後でまとめて転送／印刷実行を行うことができる。

【0143】

S T E P 1514 では、取り消しボタン 1104 が押下されたか否かを判定する。取り消しボタン 1104 が押下されていない場合は S T E P 1510 に進む。

【0144】

利用者により取り消しボタン 1104 が押下された場合は、S T E P 1515 で、印刷オーダ要求用機能拡張装置 103 によってネットワークプリント用データファイル、印刷オーダファイルが削除され、処理を終了する。

【0145】

＜印刷オーダファイルの一括印刷＞

図 12 の印刷オーダ実行ページにおいて、利用者が、外部入力装置 1008 を介して印刷オーダ実行ボタンを押下すると、印刷オーダ実行用機能拡張装置は、印刷オーダファイル名リストに表示されている各印刷オーダファイルについて以下を実行する。

【0146】

1) 印刷オーダーファイルと該印刷オーダーファイルに記述されているネットワークプリント用データファイルを結合してアーカイブファイルを生成、圧縮して印刷オーダー圧縮ファイルを生成する。

【0147】

2) 生成した印刷オーダー圧縮ファイルをプリントコントローラ105に転送し、プリントコントローラ105上の印刷オーダー要求用CGIを実行することにより印刷要求を実行する。印刷オーダー要求用CGIの引数には該印刷オーダーを実行するプリントサーバ名を渡す。

【0148】

＜プリントコントローラの動作＞

利用者が外部入力装置1008を介して料金表示ページの実行ボタン1102を押下するところにより、プリントコントローラ105上のCGIが実行されると、CGIの引数として渡されたプリントサーバ名に対応するプリントサーバへ印刷オーダー圧縮ファイルを転送し、該プリントサーバに印刷実行を要求する。クライアントコンピュータ101からの印刷要求が複数印刷オーダーを含む場合は、各々の印刷オーダーファイルについて前記処理を繰り返す。

【0149】

プリントコントローラ105のHDD2009には、プリントサーバ名と該プリントサーバのネットワークアドレスの対応を示す図13のテーブルが保存されている。前記、印刷実行要求は、このテーブルからプリントサーバのネットワークアドレスを得て行われる。

【0150】

＜プリントサーバでの印刷＞

プリントサーバ104、105、106は、プリントコントローラ105からの印刷要求を受け取ると、転送された印刷オーダー圧縮ファイルを伸長し、印刷オーダーファイルとネットワークプリント用データファイルに分解する。次に、印刷オーダーファイルに記述された用紙サイズ、印刷部数に従ってPRTC3011を介してネットワークプリント用データファイルをPRT3012に送って印刷す

る。

【0151】

＜ネットワーク閲覧装置の拡張＞

本実施例では、ネットワーク閲覧装置102に機能拡張装置（プラグイン）103を負荷することにより、同ネットワーク閲覧装置102の機能を拡張させて処理を行わせたが、102および103の両機能を包含した独自のネットワーク閲覧専用アプリケーションプログラムを別に用意して、それらの機能を代用させることも可能である。

【0152】

上記で説明したように、本発明の印刷制御装置を用いることにより、ネットワーク閲覧装置102を介して対話的に処理を行うサービスにおいて、必要時のみにネットワークへの接続を行うこと可能することにより、通信費用の削減を行うことが可能となる。また、通信速度の低い環境では、不要な通信がなくなることにより対話処理のレスポンスが良くなる効果がある。

【0153】

さらに、印刷オーダファイルとネットワークプリント用データファイルを結合・圧縮して転送することにより、ファイルの転送回数および転送量を低減し、通信コストを節約することができる。

【0154】

（第三実施例）

本発明の第三実施例を以下に説明する。なお、システム構成は第一実施例と同じである。

【0155】

＜HTMLテンプレート＞

本実施例において、クライアントコンピュータ101上のネットワーク閲覧装置102の機能拡張装置103によってHTMLファイルが生成される場合、機能拡張装置103はクライアントコンピュータ101のHDD1009に格納されたHTMLファイル生成の元となるHTMLテンプレートファイルを参照し、これを元にHTMLファイルを生成する。HTMLテンプレートファイルは、プ

プリントコントローラ 105 の CGI プログラムにより生成される HTML ファイルにより提供されるユーザインタフェースの更新時に、これをクライアントコンピュータ 101 上でネットワーク閲覧装置 102 の機能拡張装置 103 で生成される HTML ファイルにより提供されるユーザインタフェースに反映させるためにプリントコントローラ 105 の管理者により更新される。

【0156】

例として図 9 の印刷詳細情報設定ページの HTML テンプレートファイルを図 17 (A) に示す。図 17 (A) 中アットマーク (@) で挟まれた部分は、機能拡張装置 103 によって置き換えられる部分を示す。

【0157】

図 17 (B) は、図 17 (A) を参照して機能拡張装置 103 によって生成される HTML ファイルの例である。

【0158】

@PREVIEW@の部分は、文書編集装置 104 で生成され機能拡張装置 103 に通知されるプレビューイメージのファイルパスに置き換えられる。

【0159】

HTML テンプレートファイル中のアットマークで挟まれた置き換えられる部分は、各 HTML テンプレートファイルにより異なる。また、置き換えられる内容は、機能拡張装置 103 のパラメータとして与えられる場合やクライアントコンピュータ 101 上で動作している OS の環境情報保存機能（例えば、環境変数や Microsoft（登録商標）社の Windows（登録商標）のレジストリ、または WWW サーバの設定ファイルなど）により事前に保存された環境情報などが使用される。

【0160】

HTML テンプレートファイルは後述するプリントサーバの登録処理および印刷データのプリントコントローラ 105 への送信処理においてプリントコントローラ 105 から最新の HTML テンプレートファイルがダウンロードされて、クライアントコンピュータ 101 の HDD 1009 に格納された対応する HTML テンプレートファイルが更新される。

【0161】

＜プリントサーバの登録＞

利用者は、本システムを利用する前にクライアントコンピュータ101からネットワーク閲覧装置102を使用して、一旦プリントコントローラ105のWWサーバ109に接続して、利用予定のプリントサーバの登録を行う。

【0162】

登録処理については第一実施例で説明した図5で示されるフローにより行われる。本実施例では、登録処理と同時に、プリントサーバ情報ダウンロード機能拡張装置はプリントコントローラ105のHDD2009に格納されたHTMLテンプレートファイルをクライアントコンピュータ101にダウンロードしHDD1009に格納する。

【0163】

＜ネットワークプリントの実行＞

クライアントコンピュータ101上のネットワーク閲覧装置102を用いたネットワークプリント実行処理のフローを図16に示す。

【0164】

STEP1601では、利用者は、文書編集装置104のネットワークプリントコマンドを選択することにより編集中の文書の印刷要求を開始する。

【0165】

STEP1602では、文書編集装置104はHDD1009上のネットワークプリント開始用HTMLファイルのパスを引数としてネットワーク閲覧装置102を起動する。ネットワークプリント開始用HTMLファイルは文書編集装置104をクライアントコンピュータ101に導入する時に、導入プログラムによりHDD1009に保存され、そのパスが文書編集装置104の各種設定を保存する設定ファイルに記録される。文書編集装置104は設定ファイルからネットワークプリント開始用HTMLファイルのパスを得る。

【0166】

ネットワーク閲覧装置102は、起動時に指定されたネットワークプリント開始用HTMLファイルを読み込み表示する。

【0167】

ネットワークプリント開始用HTMLファイルには、ネットワークプリント開始用機能拡張装置を読み込むためのタグが含まれている。ネットワークプリント開始用機能拡張装置は、ネットワークプリント用データの生成を文書編集装置104に要求する機能を有するネットワーク閲覧装置102の機能拡張装置103である。

【0168】

STEP1603では、ネットワークプリント開始用機能拡張装置は、クライアントコンピュータ101上で動作しているOSのアプリケーション間通信機能を使用して、文書編集装置104に編集中の文書に対するネットワークプリント用データの生成を依頼する。

【0169】

STEP1604では、文書編集装置104は、編集中の文書に対するネットワークプリント用データを生成する。

【0170】

同時に、ネットワーク閲覧装置上に印刷対象のプレビューを表示するための低解像度の画像であるプレビューイメージを生成する。

【0171】

STEP1605では、文書編集装置104はクライアントコンピュータ101上で動作しているOSのアプリケーション間通信機能を使用して、生成したネットワークプリント用データファイル、プレビューイメージファイルのパスをネットワークプリント開始用拡張装置に通知する。

【0172】

STEP1606では、ネットワークプリント開始用機能拡張装置は、HDD1009に格納されたHTMLテンプレートファイルを参照して、通知されたプレビューイメージファイルの表示および印刷詳細情報の設定を行う印刷詳細情報設定ページを表示するためのHTMLファイルを生成し、ネットワーク閲覧装置102で提供される機能を使用してネットワーク閲覧装置102に表示させる。

【0173】

前記HTMLファイルには、印刷オーダ生成用機能拡張装置を読み込むためのタグが含まれる。印刷オーダ生成用機能拡張装置は、ネットワーク閲覧装置102に、利用者に印刷オーダに必要な設定を行うユーザインタフェースを提供し、印刷オーダ情報を記述した印刷オーダファイルを生成する機能を付加する機能拡張装置103である。

【0174】

図9は、印刷詳細情報設定ページである。図9の左部分には文書編集装置104により生成されたプレビューイメージがネットワーク閲覧装置102によってプレビューイメージ表示エリア901に表示される。プレビューイメージ表示エリア901の右側には印刷オーダ生成用機能拡張装置により表示される印刷詳細情報設定エリア902が表示される。印刷詳細情報設定エリア902には、プリントサーバ名、印刷用紙サイズおよび印刷部数を入力する印刷詳細情報設定エリア903と、印刷オーダの生成を開始する決定ボタン904がある。また、図9中905はプリントサーバ名を選択するためのポップアップリストである。ポップアップリスト905に表示される項目は、プリントコントローラ105から取得し、HDD1009に保存されているプリントサーバ情報ファイルのファイル名をリストアップしたものである。プリントサーバ名をポップアップリスト905から選択すると、印刷オーダ生成用機能拡張装置103によってプリントサーバ名に対応するプリントサーバのプリントサーバ情報ファイルがSTEP505で格納されているHDD1009から読み込まれ、印刷用紙サイズポップアップリストの項目が更新される。

【0175】

利用者は、印刷詳細情報設定エリア903の値を変更して所望の印刷設定を行う。

【0176】

STEP1607では、決定ボタン904が押下されたか否かを判定する。利用者が決定ボタン904を押下すると、STEP1608で、印刷オーダ生成用機能拡張装置は印刷詳細情報設定エリア903の値を取得して図10で前述した

印刷オーダーファイルを生成する。

【0177】

STEP 1609では、印刷オーダー生成用機能拡張装置は、HDD 1009に保存されたプリントサーバ情報から前記印刷オーダーに対する料金の見積もりを計算し、HDD 1009に格納されたHTMLテンプレートファイルを参照して図 11で前述した料金表示ページのHTMLを生成し、ネットワーク閲覧装置 102によって提供される機能を使用して該HTMLをネットワーク閲覧装置 102に表示させる。

【0178】

STEP 1610では、実行ボタン 1102が押下されたか否かを判定する。実行ボタンが押下されていない場合はSTEP 1611に進む。利用者が外部入力装置 1008を介して実行ボタン 1102を押下した場合は、STEP 1612で、印刷オーダー要求用機能拡張装置はプリントコントローラ 105へネットワークプリント用データファイル、印刷オーダーファイルを送信し、プリントコントローラ 105上の印刷オーダー要求用CGIを実行することにより印刷の実行を要求する。同時に、印刷オーダー要求用機能拡張装置は、クライアントコンピュータ 101上のHDD 1009に存在するプリントサーバ情報ファイルに対応するプリントコントローラ 105上のプリントサーバ情報ファイルおよびHTMLテンプレートファイルをダウンロードしてHDD 1009上のプリントサーバ情報ファイルおよびHTMLテンプレートファイルを更新する。

【0179】

印刷要求が実行されるとプリントコントローラ 105上のプリントサーバ情報を使用して改めて印刷料金の計算が行われ図 11から保存ボタン 1103を取った状態の料金表示ページが表示される。この状態で利用者が外部入力装置 1008を介して実行ボタン 1102を押下するとプリントコントローラ 105上のCGIが起動され印刷実行後に処理を終了する。

【0180】

STEP 1611では、保存ボタン 1103が押下されたか否かを判定する。保存ボタン 1103が押下されていない場合はSTEP 1614に進む。

【0181】

利用者が外部入力装置 1008 を介して保存ボタン 1103 を押下した場合は、STEP 1613 で、印刷オーダ要求用機能拡張装置 103 は HDD 1009 上の所定の位置に前記印刷オーダ用のディレクトリが作成されネットワークプリント用データファイル、印刷オーダファイルをコピーして処理を終了する。また、保存ボタン 1103 押下により、コピーされたネットワークプリント用データファイル、印刷オーダファイルは、後述するように後でまとめて転送／印刷実行を行うことができる。

【0182】

STEP 1614 では、取り消しボタン 1104 が押下されたか否かを判定する。取り消しボタン 1104 が押下されていない場合は STEP 1610 に進む。

【0183】

利用者により取り消しボタン 1104 が押下された場合は、STEP 1615 で、印刷オーダ要求用機能拡張装置 103 によってネットワークプリント用データファイル、印刷オーダファイルが削除され、処理を終了する。

【0184】

<プリントサーバでの印刷>

プリントサーバ 104、105、106 は、プリントコントローラ 105 からの印刷要求を受け取ると、転送された印刷オーダファイルに記述された用紙サイズ、印刷部数に従って PRTC 3011 を介してネットワークプリント用データファイルを PRT 3012 に送って印刷する。

【0185】

<ネットワーク閲覧装置の拡張>

本実施例では、ネットワーク閲覧装置 102 に機能拡張装置（プラグイン）103 を負荷することにより、同ネットワーク閲覧装置 102 の機能を拡張させて処理を行わせたが、102 および 103 の両機能を包含した独自のネットワーク閲覧専用アプリケーションプログラムを別に用意して、それらの機能を代用させることも可能である。

【0186】

上記で説明したように、本発明の印刷制御装置を用いることにより、ネットワーク閲覧装置102を介して対話的に処理を行うサービスにおいて、必要時のみにネットワークへの接続を行うこと可能することにより、通信費用の削減を行うことが可能となる。また、通信速度の低い環境では、不要な通信がなくなることにより対話処理のレスポンスが良くなる効果がある。

【0187】

また、ネットワーク閲覧装置の機能拡張装置でHTMLファイルを生成する際に、プリントコントローラへの接続時にダウンロードするHTMLテンプレートファイルを使用することにより、プリントコントローラ105側のユーザインタフェースの更新に対応してクライアントコンピュータ101でのユーザインタフェースを自動的に更新することが可能となる。

【0188】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の印刷制御装置を用いることにより、ネットワーク閲覧装置を介して対話的に処理を行うサービスにおいて、必要時のみにネットワークへの接続を行うこと可能することにより、通信費用の削減を行うことが可能となる。また、通信速度の低い環境では、不要な通信がなくなることにより対話処理のレスポンスが良くなる効果がある。

【0189】

さらに、印刷オーダファイルとネットワークプリント用データファイルを結合・圧縮して転送することにより、ファイルの転送回数および転送量を低減し、通信コストを節約することができる。

【0190】

また、ネットワーク閲覧装置の機能拡張装置でHTMLファイルを生成する際に、プリントコントローラへの接続時にダウンロードするHTMLテンプレートを使用することにより、プリントコントローラ側のユーザインタフェースの更新に対応してクライアントコンピュータでのユーザインタフェースを自動的に更新することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の印刷制御装置のシステム構成図である。

【図 2】

クライアントコンピュータのシステム構成図である。

【図 3】

プリントコントローラのシステム構成図である。

【図 4】

プリントサーバのシステム構成図である。

【図 5】

クライアントコンピュータのプリントサーバ登録処理フローである。

【図 6】

プリントサーバ登録ページの説明図である。

【図 7】

プリントサーバ情報ファイルの例を示す図である。

【図 8】

本発明の第一実施例のクライアントコンピュータのネットワークプリント実行処理フローである。

【図 9】

印刷詳細情報設定ページの説明図である。

【図 10】

印刷オーダファイルの例を示す図である。

【図 11】

料金表示ページの説明図である。

【図 12】

印刷オーダ実行ページの説明図である。

【図 13】

プリントサーバ名とネットワークアドレスの対応テーブルの例を示す図である。

【図 14】

クライアントコンピュータのメモリマップである。

【図 15】

本発明の第二実施例のクライアントコンピュータのネットワークプリント実行処理フローである。

【図 16】

本発明の第三実施例のクライアントコンピュータのネットワークプリント実行処理フローである。

【図 17】

HTMLテンプレートの説明図である。

【図 18】

プリントコントローラの処理フローである。

【符号の説明】

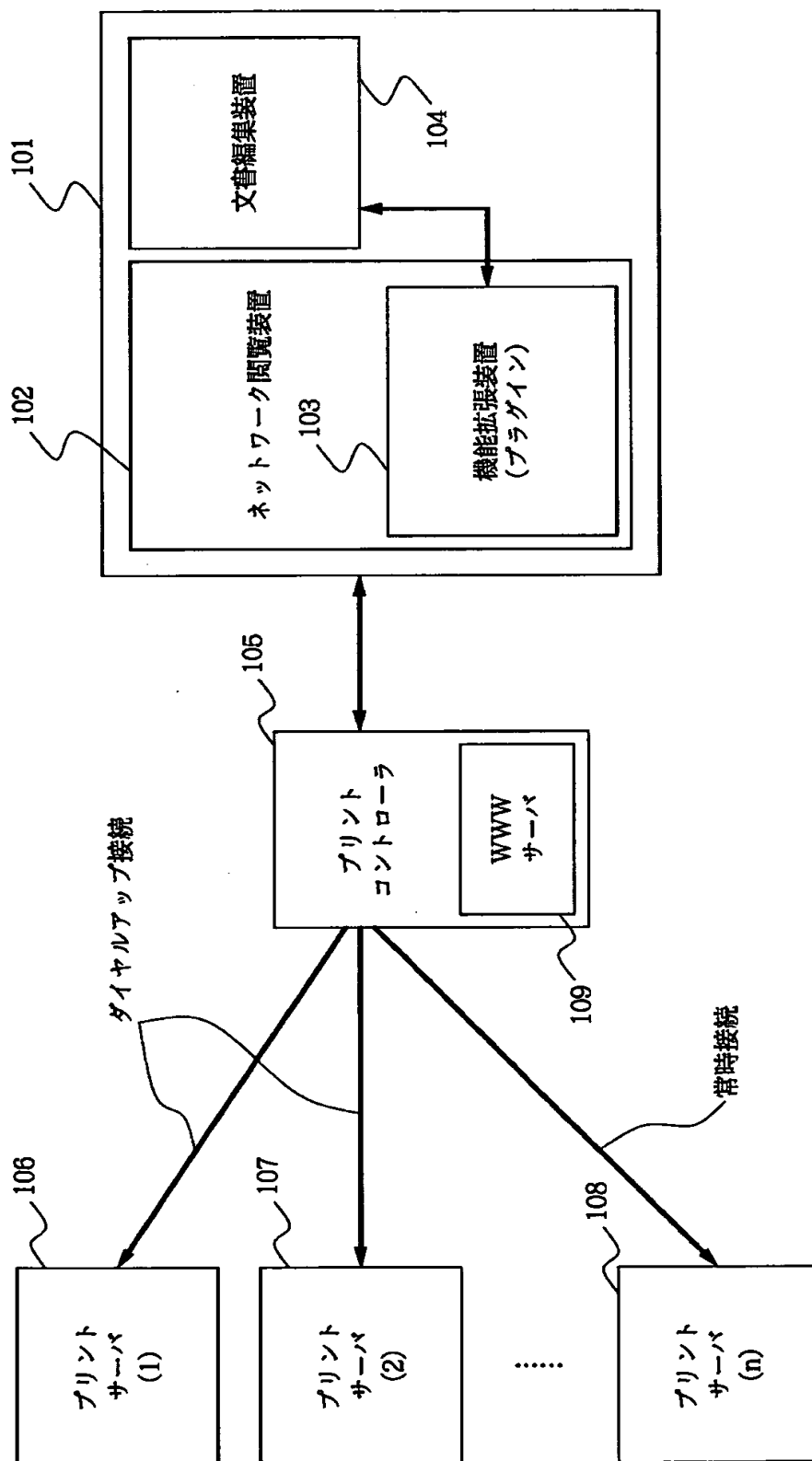
- 101 クライアントコンピュータ
- 102 ネットワーク閲覧装置
- 103 機能拡張装置（プラグイン）
- 104 文書編集装置
- 105 プリントコントローラ
- 106 プリントサーバ
- 107 プリントサーバ
- 108 プリントサーバ
- 109 WWWサーバ
- 1000 I/Oバス（アドレスバス、データバスおよび制御バス）
- 1001 CPU
- 1002 RAM
- 1003 ROM
- 1004 通信部
- 1005 ビデオRAM
- 1006 CRT

- 1007 キーボードコントローラ
- 1008 外部入力装置
- 1009 ハードディスクドライブ
- 1010 リムーバブルディスクドライブ
- 2000 I/Oバス（アドレスバス、データバスおよび制御バス）
- 2001 CPU
- 2002 RAM
- 2003 ROM
- 2004 通信部
- 2005 ビデオRAM
- 2006 CRT
- 2007 キーボードコントローラ
- 2008 外部入力装置
- 2009 ハードディスクドライブ
- 2010 リムーバブルディスクドライブ
- 3000 I/Oバス（アドレスバス、データバスおよび制御バス）
- 3001 CPU
- 3002 RAM
- 3003 ROM
- 3004 通信部
- 3005 ビデオRAM
- 3006 CRT
- 3007 キーボードコントローラ
- 3008 外部入力装置
- 3009 ハードディスクドライブ
- 3010 リムーバブルディスクドライブ
- 3011 プリンタ制御部
- 3012 プリンタ
- 601 プリントサーバ名表示／選択エリア

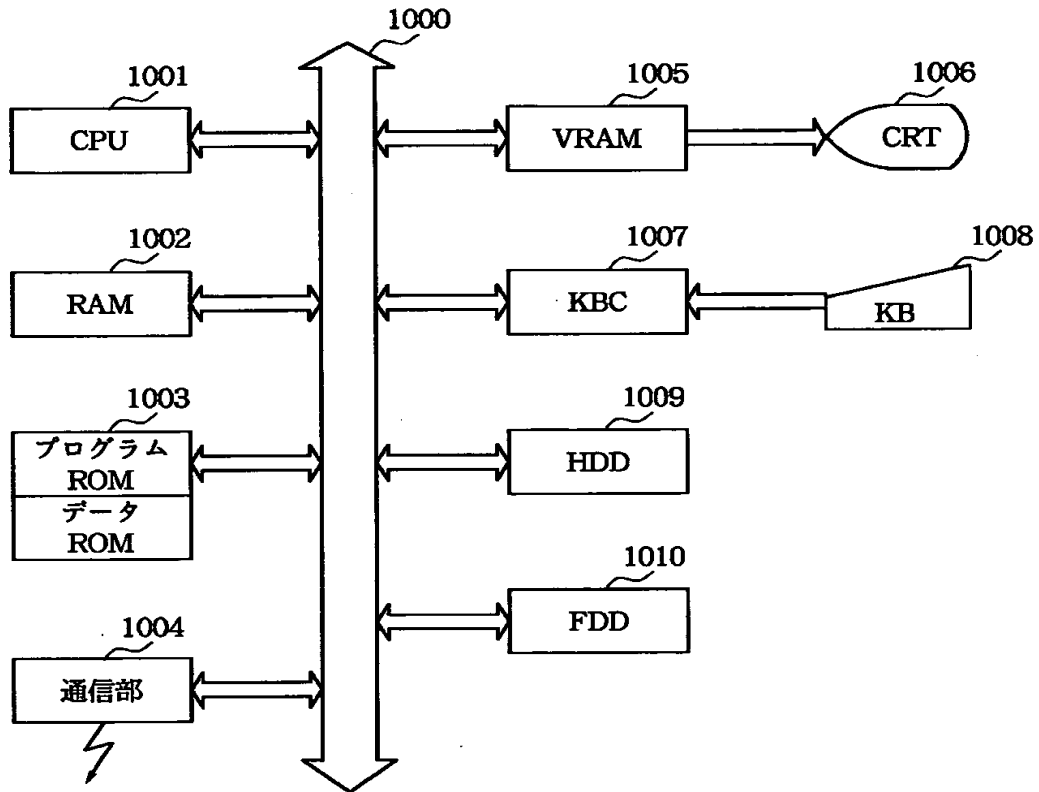
- 602 登録ボタン
- 603 チェックボックス
- 901 プレビューイメージ表示エリア
- 902 印刷詳細情報表示エリア
- 903 印刷詳細情報設定エリア
- 904 決定ボタン
- 905 ポップアップリスト
- 1101 印刷オーダ詳細
- 1102 実行ボタン
- 1103 保存ボタン
- 1104 取り消しボタン
- 1201 印刷オーダ名リスト
- 1202 印刷オーダ選択ボタン
- 1203 印刷オーダ実行ボタン
- 1401 ディレクトリ情報
- 1402 文書編集装置及びネットワーク閲覧装置の各モジュールのプログラ
ムの記憶場所
- 1403 ネットワーク閲覧装置・機能拡張装置プログラムの記憶場所

【書類名】 図面

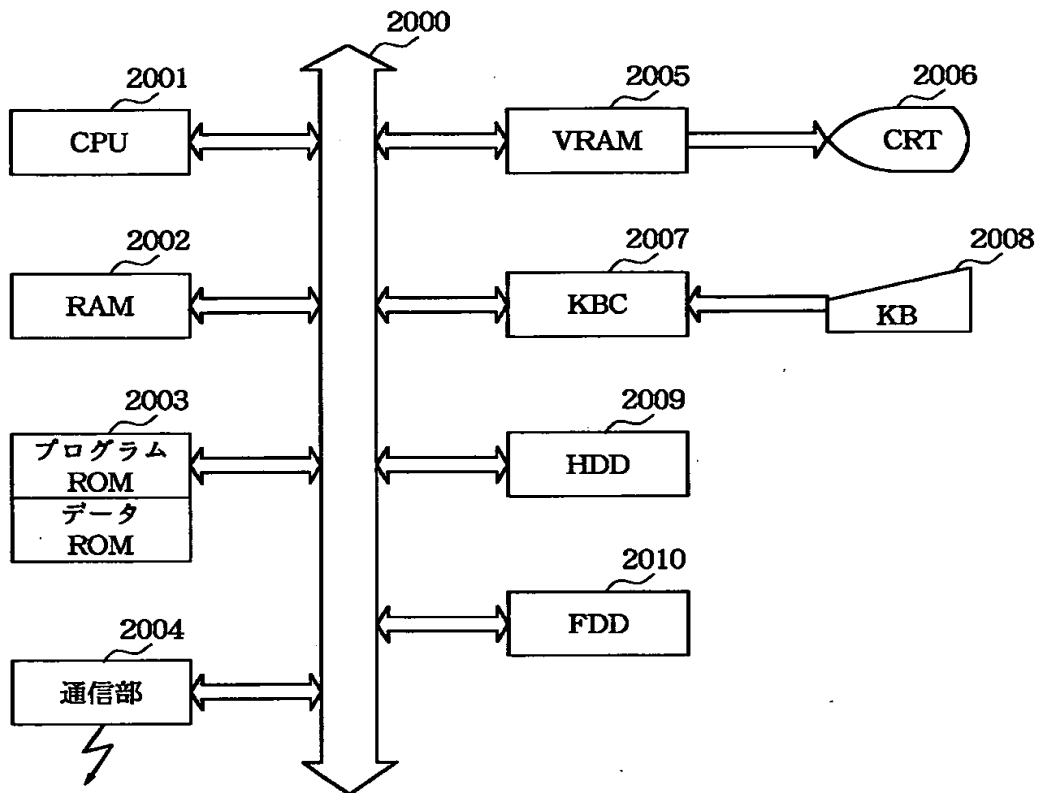
【図 1】



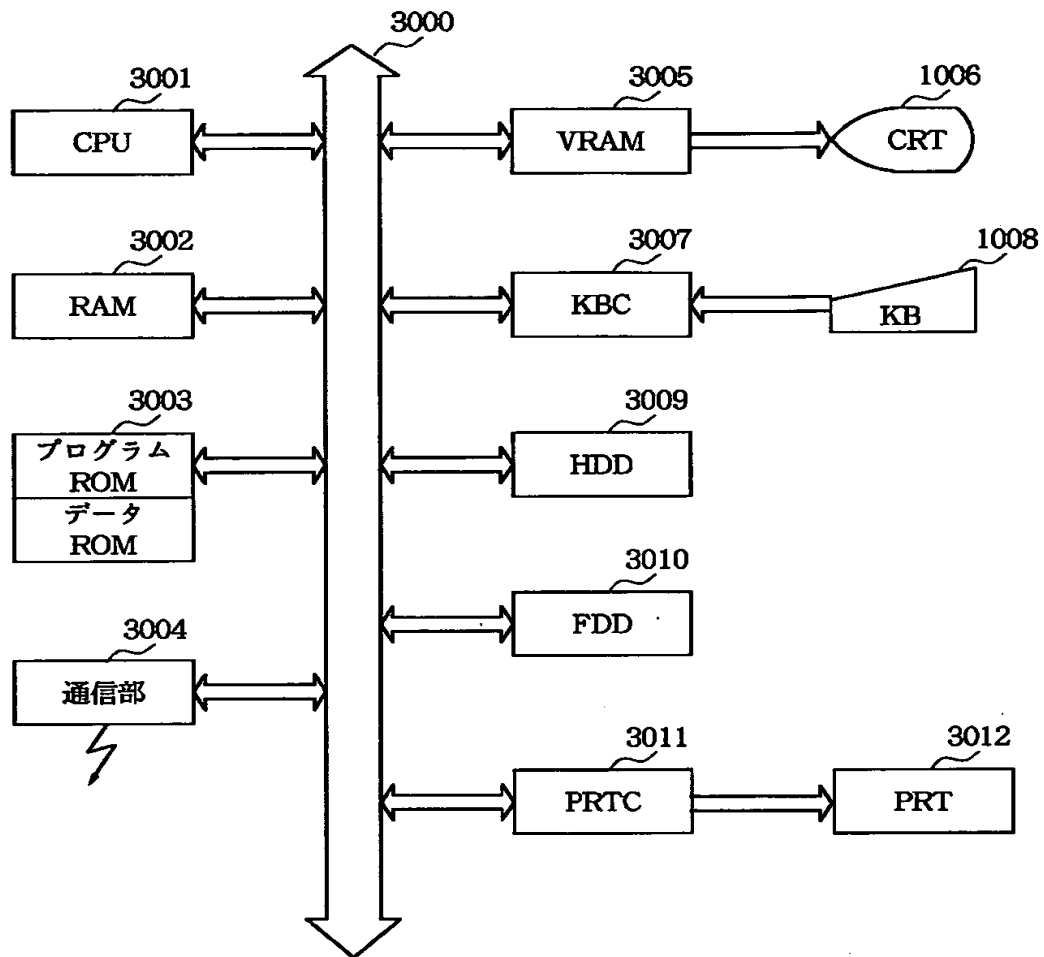
【図 2】



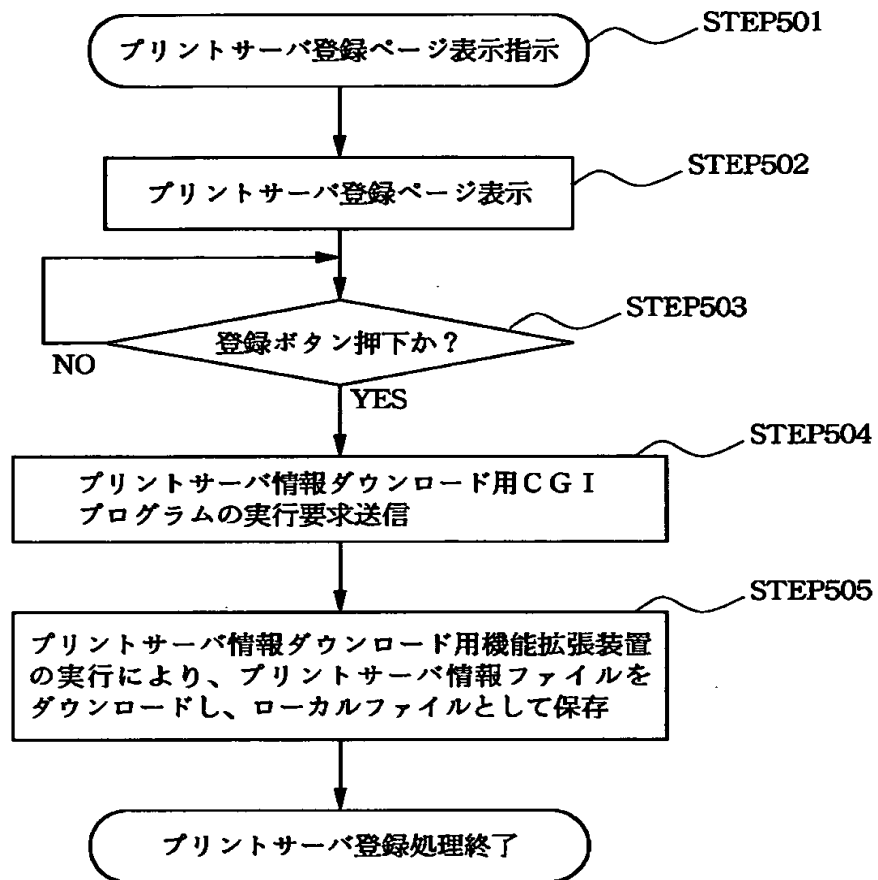
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

プリントサーバの登録

603 ☐ プrintサーバ-1

603 ☐ プrintサーバ-2 601

603 ☐ プrintサーバ-3

603 ☐ プrintサーバ-4

602
登録

【図 7】

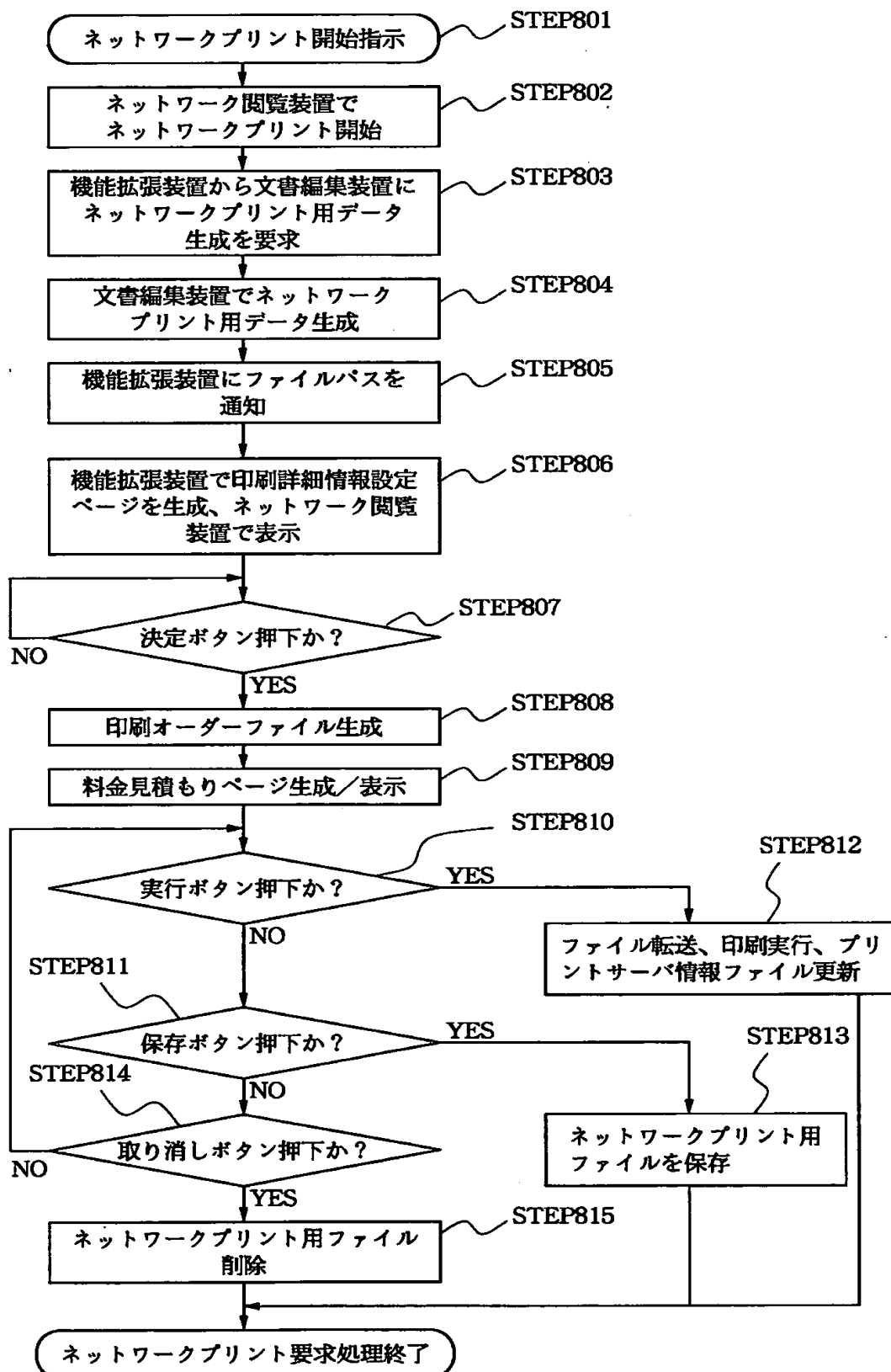
用紙サイズ=はがき, A 4, A 3

はがき=5 0 円

A 4=1 0 0 円

A 3=2 0 0 円

【図 8】



【図 9】

【図 1 0】

ファイル=カタログ1.prn
プリントサーバ=プリントサーバー1
用紙サイズ= A4
印刷部数= 2

【図 11】

印刷料金の見積もり

プリントサーバー1

用紙サイズ	部数	料金
A4	2	200
合計		200

実行 保存 取り消し

1102 1103 1104

1101

料金表示ページ

【図 12】

印刷オーダの選択

印刷オーダ 001

印刷オーダ 015 ~ 1201

印刷オーダ 298

選択 1202

実行 1203

【図 13】

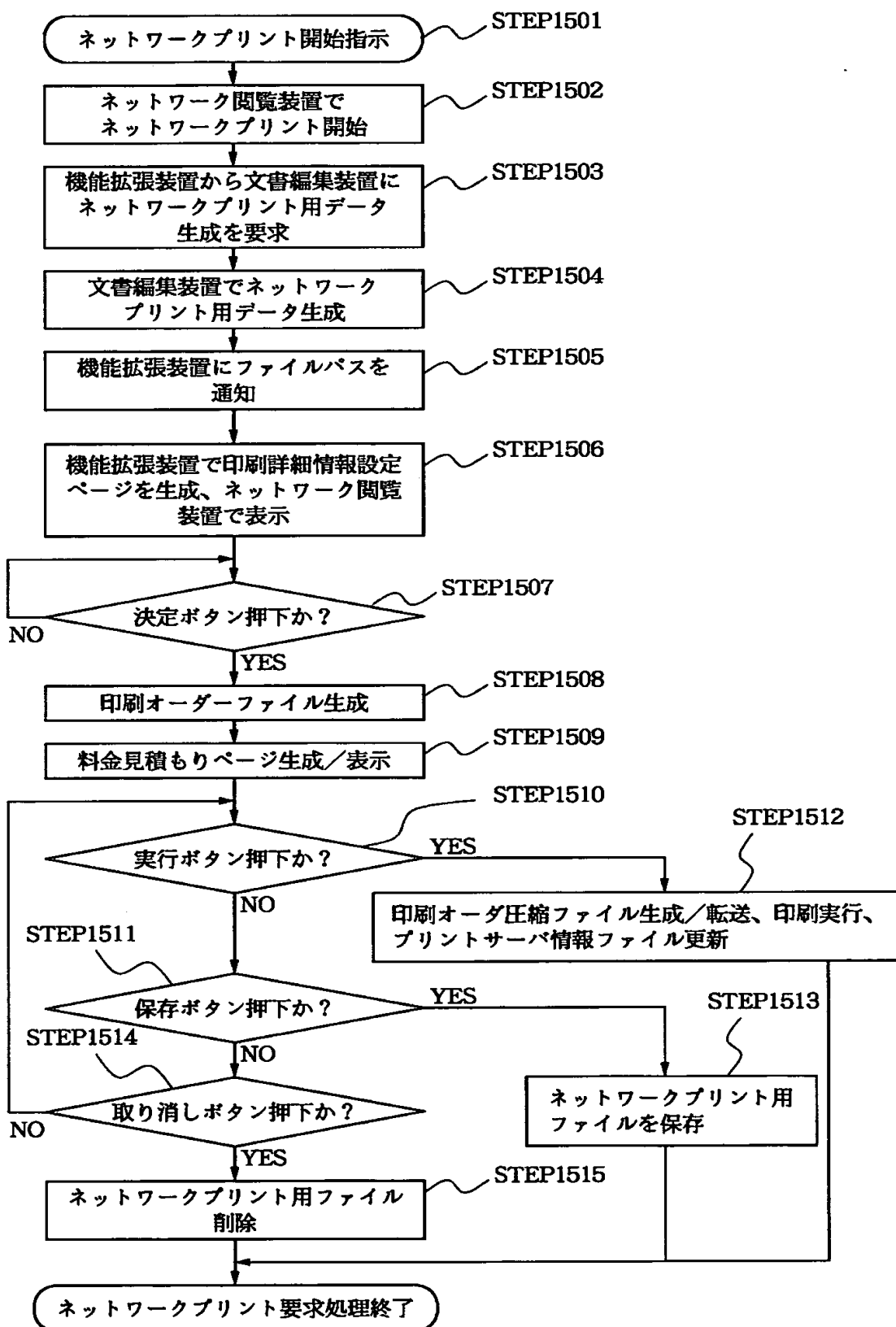
プリントサーバ名	ネットワークアドレス
プリントサーバー 1	print11.xxx.co.jp
プリントサーバー 2	prsvr0.zzz.co.jp
:	:

対応テーブル

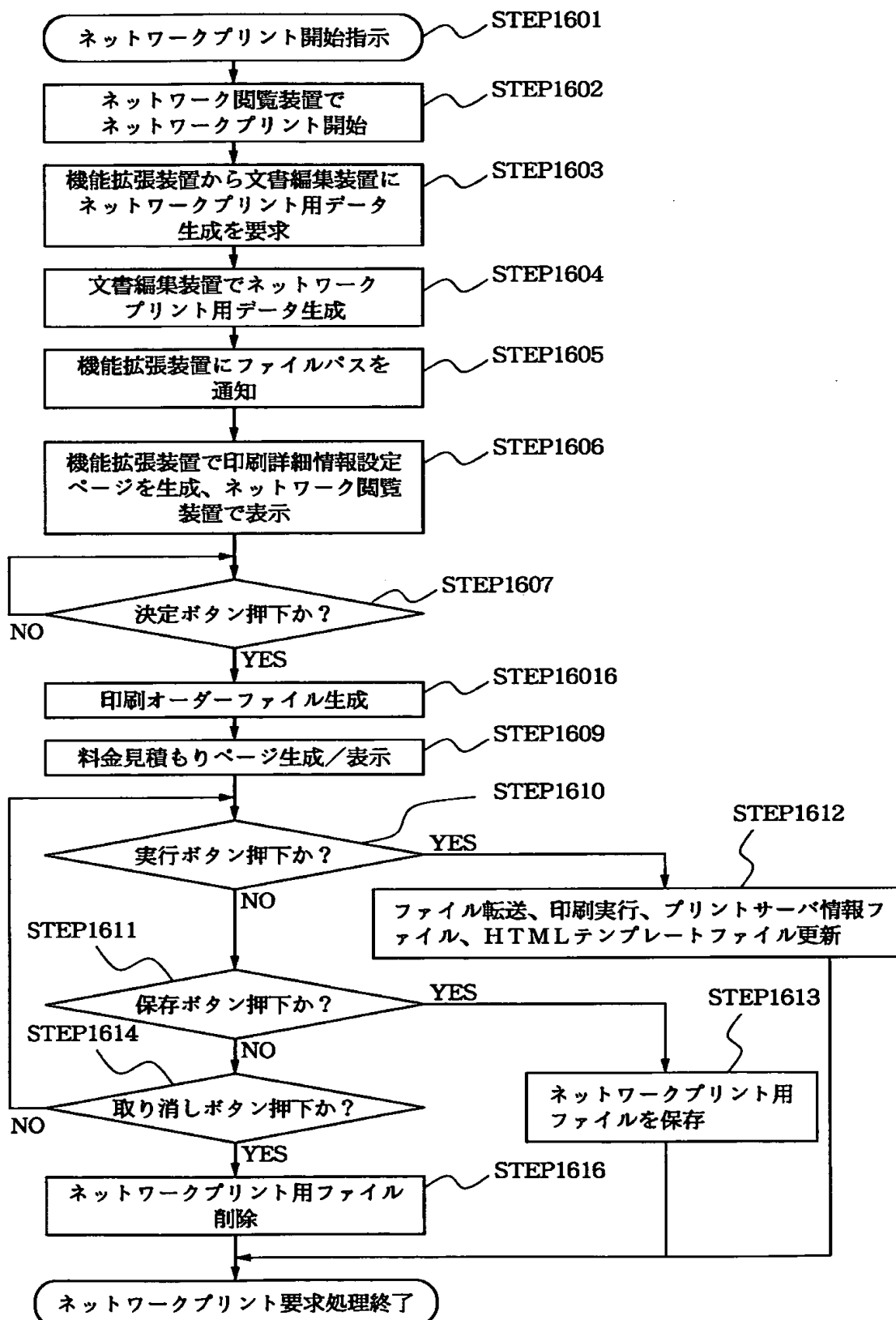
【図 14】

ディレクトリ情報	1401 FD
・ ・ ・	
文書編集装置・プログラム § 1	1402
ネットワーク閲覧装置・プログラム § 2	
・ ・ ・	
§ 2. ネットワーク閲覧装置・機能拡張装置プログラム	1403
・ ・ ・	

【図 15】



【図 16】



【図 1 7】

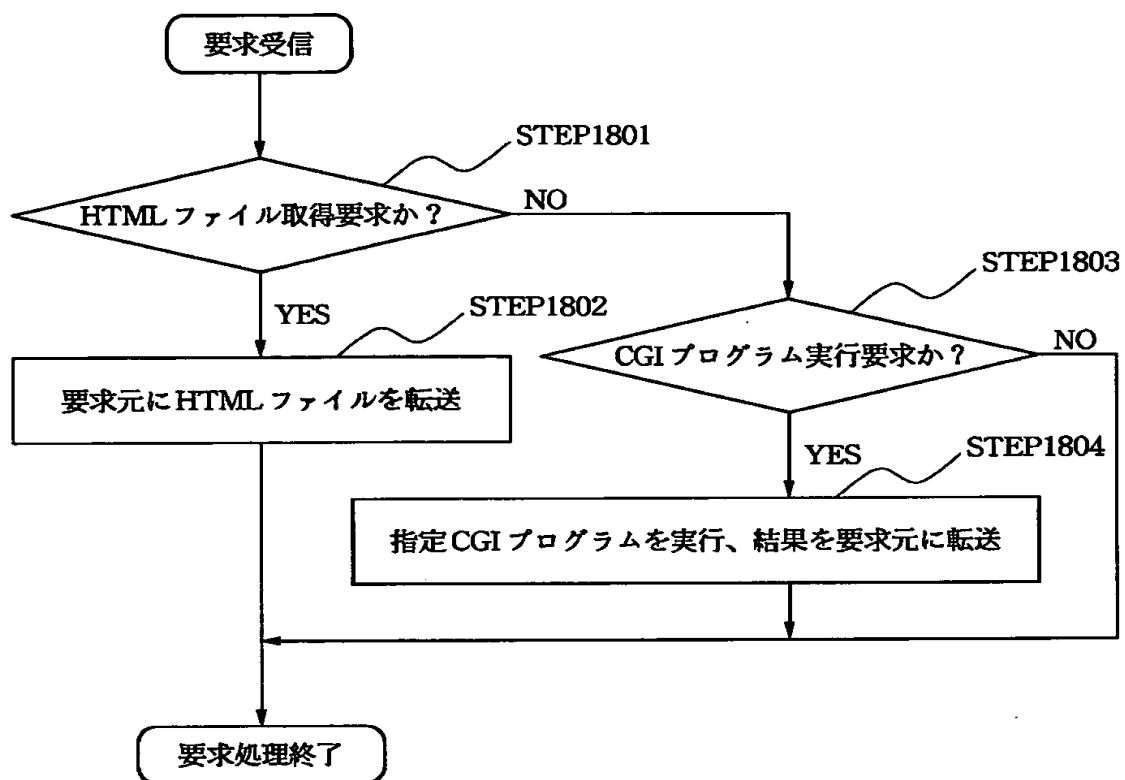
(A)

```
< HTML >
< HEAD > < TITLE > 印刷詳細情報の設定 < /TITLE > < /HEAD >
< BODY >
< H1 > 印刷詳細情報の設定 < /H1 > < HR >
< IMG SRC = @PREVIEW @ >
< EMBED TYPE = "APPLICATION / X - PRINT - INFO" WIDTH = 150
HEIGHT = 100 >
< /BODY >
```

(B)

```
< HTML >
< HEAD > < TITLE > 印刷詳細情報の設定 < /TITLE > < /HEAD >
< BODY >
< H1 > 印刷詳細情報の設定 < /H1 > < HR >
< IMG SRC = "file : // C : / previews / aaa0234.jpg" >
< EMBED TYPE = "APPLICATION / X - PRINT - INFO" WIDTH = 150
HEIGHT = 100 >
< /BODY >
```

【図 18】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 WWWサーバとクライアントコンピュータの間の通信を減少させ、通信コストの低減と、ユーザインタフェースのレスポンスを向上させることを課題とする。

【解決手段】 WWWサーバ105から印刷設定情報を取得保持し、ネットワークを介してWWWサーバと通信しつつ印刷依頼情報を送信する手段を有し、該手段によりWWWサーバと通信する前に、取得した印刷設定情報に基づいて、前記印刷依頼情報を生成する構成を特徴とする。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	平成11年 特許願 第190411号
受付番号	59900642674
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成11年 7月 9日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 000001007

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

【代理人】 申請人

【識別番号】 100069877

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3-30-2 キヤノン株式会社内

【氏名又は名称】 丸島 儀一

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [00000100'7]

1. 変更年月日 1990年 8月30日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
氏 名 キヤノン株式会社